

生活とお金に関するアンケート

2020年2月5日

家庭の銀行



調査の概要

P1

1. 2019年を振り返って

P2

2. 2020年の展望

P13

3. 備えが必要（経済的に不安）と感じること

P15

4. お金の支払いをする際の決済方法

P17

5. 資産運用について

P21

調査目的

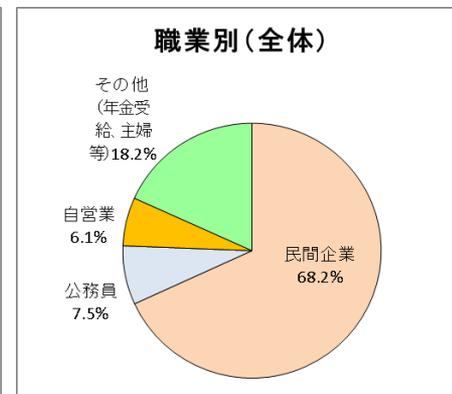
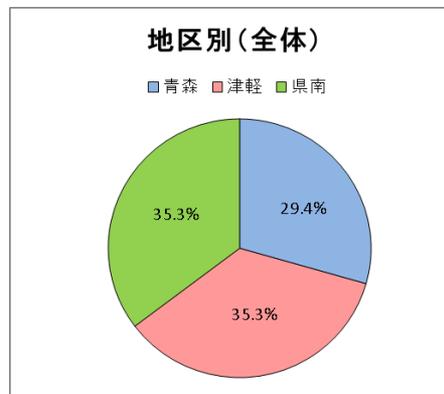
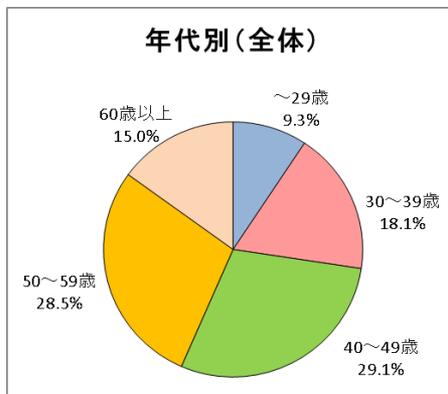
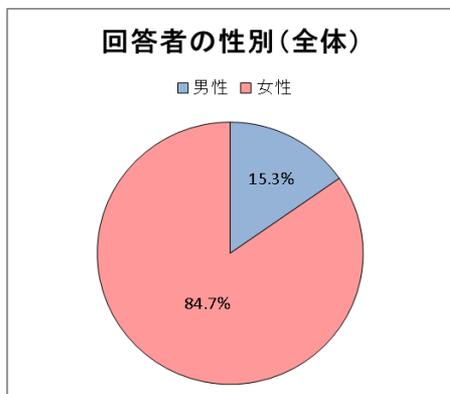
国内経済は、海外経済の不確実性に対する懸念があったものの、国内の大手企業の業績は堅調に推移しており、10月の消費増税の影響は政府によるキャッシュレスポイント還元などの対策もあり、駆け込み需要とその反動減は大きくなかった。

こうした国内経済にけん引されて県内経済も概ね堅調だったと捉えているが、実際に青森県民は自身の生活環境の変化をどのように感じているのか、現在の生活への満足度やお金に関する意識について掘り下げることがを目的に実施する。

また、全国的にキャッシュレス決済サービスの普及が進められている中で、青森県内において10月の消費増税後の決済方法の変化についても昨年と比較して見ていきたい。

- 調査対象・・・青森県内に居住の個人 1,035名
- 調査方法・・・無記名による回答選択方式および自由記述方式
- 調査時期・・・2019年12月初旬～12月下旬（毎年1回）
- 回収率・・・1,035名（100%）

回答者の属性



1. 2019年を振り返って

1-1. 2019年は何に最もお金を使いましたか？

食費→子どもの教育費→旅行の順に支出

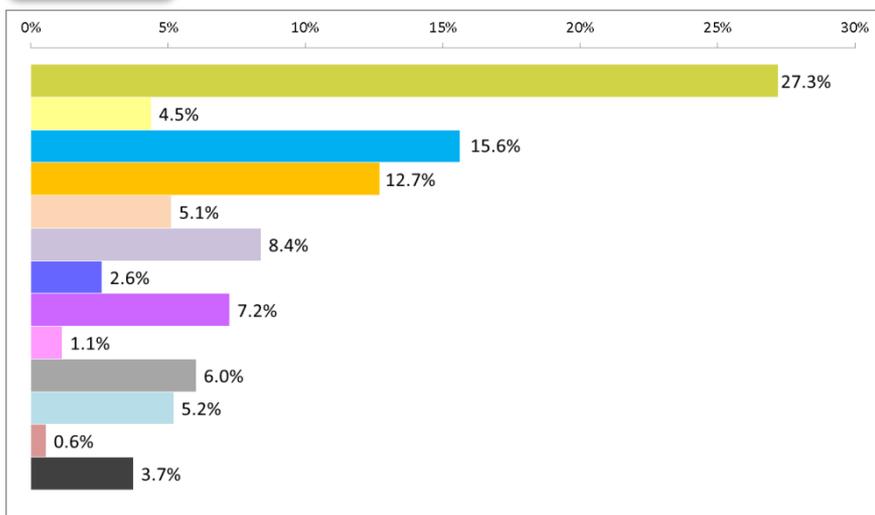
2019年は何に最もお金を使ったか尋ねたところ、「①食費」が27.3%と最も高い割合となった。次いで、「③子どもの教育費」が15.6%、「④旅行」が12.7%となった。

男女別で見ると、男性は「①食費」「⑥趣味・娯楽」が21.4%と最も高く、女性は「①食費」が28.1%と最も高い割合となった。また、男性は女性に比べて「⑥趣味・娯楽」が15.1ポイント高く、女性は男性に比べて「④旅行」が8.7ポイント高い結果となった。

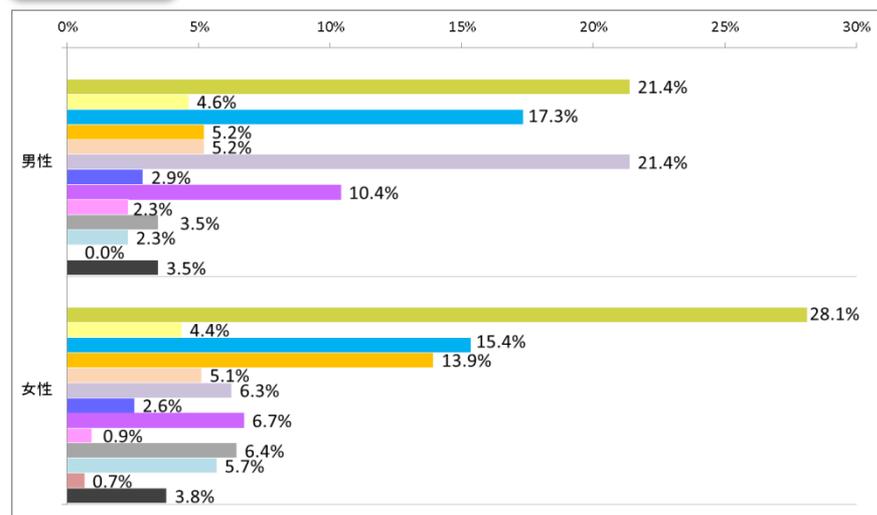
年代別で見ると、どの年代も「①食費」の割合が高かったものの、20代では「⑤趣味・娯楽」が26.4%と最も高く、40代は「③子どもの教育費」が29.2%と最も高い割合となった。

- ①食費
- ②交際費
- ③子どもの教育費
- ④旅行
- ⑤家具・家電
- ⑥趣味・娯楽
- ⑦住宅購入
- ⑧自動車購入
- ⑨金融商品・資産運用
- ⑩健康・医療
- ⑪冠婚葬祭
- ⑫自分の習い事
- ⑬その他

全体



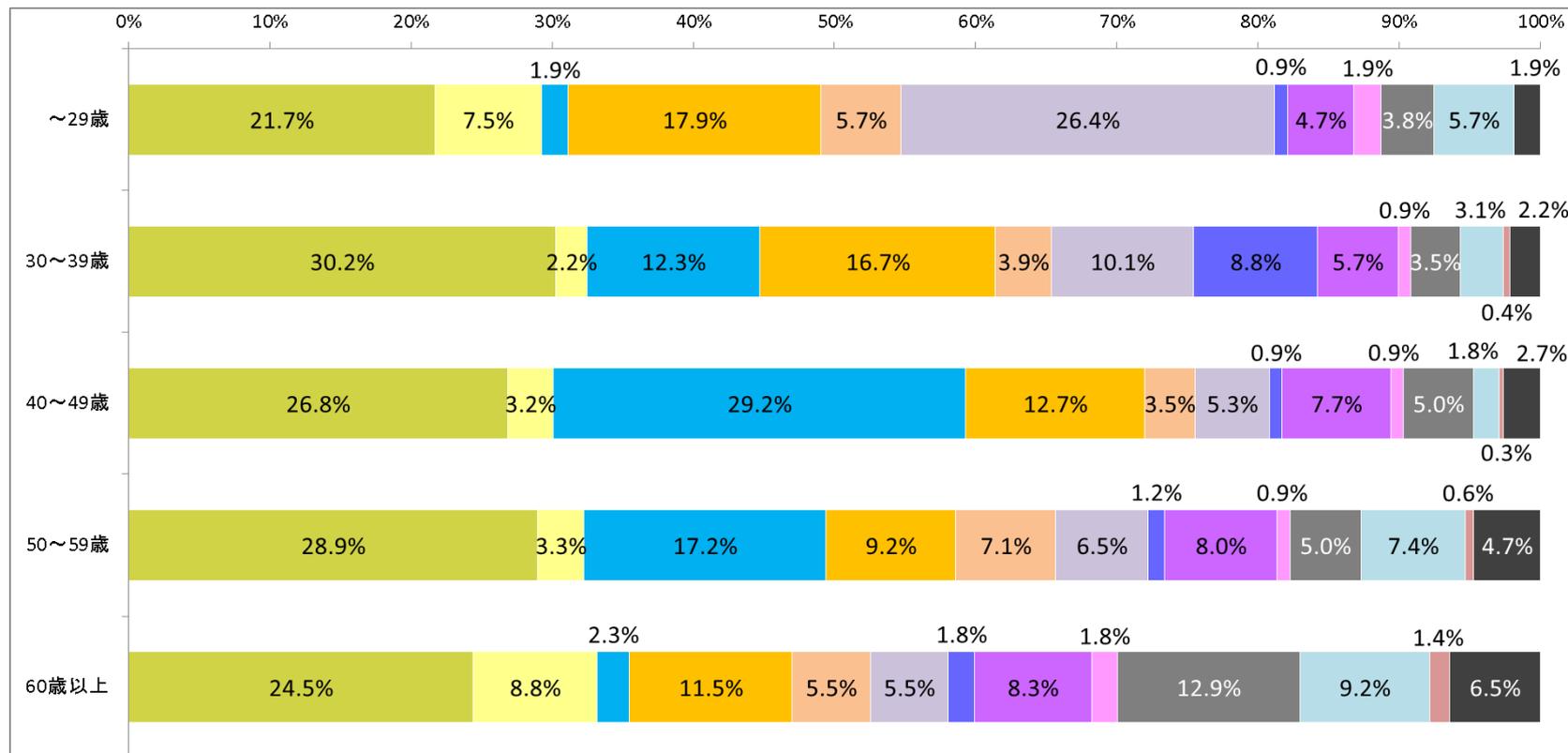
男女別



1. 2019年を振り返って

- ① 食費
- ② 交際費
- ③ 子どもの教育費
- ④ 旅行
- ⑤ 家具・家電
- ⑥ 趣味・娯楽
- ⑦ 住宅購入
- ⑧ 自動車購入
- ⑨ 金融商品・資産運用
- ⑩ 健康・医療
- ⑪ 冠婚葬祭
- ⑫ 自分の習い事
- ⑬ その他

年代別



- 【その他コメント】
- ・リフォーム（複数）
 - ・ローン返済（複数）

1. 2019年を振り返って

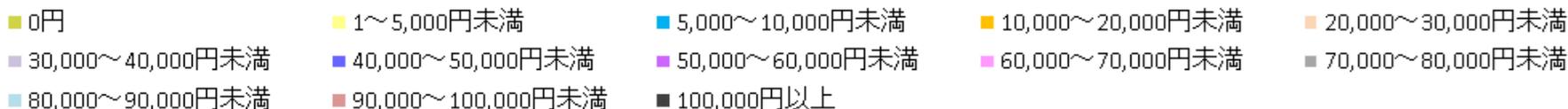
1-2. 2019年の月間平均貯蓄額はおよそいくらでしたか？

月間平均貯蓄額は「20,000～30,000円未満」が最多

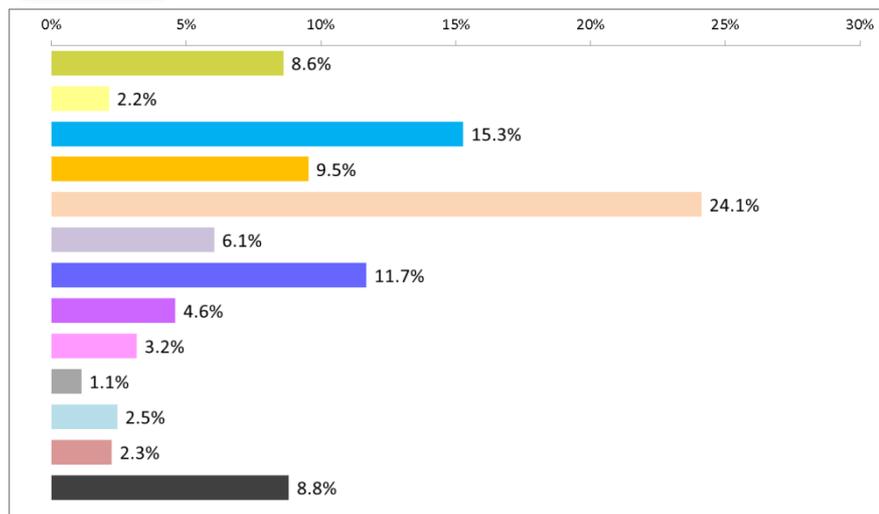
月間平均貯蓄額について尋ねたところ、「20,000～30,000円未満」が24.1%で最も高い割合となった。次いで、「5,000～10,000円未満」が15.3%、「40,000～50,000円未満」が11.7%となった。

年代別で見ると、20代は「5,000～10,000円未満」が33.2%と最も高く、その他の年代は「20,000～30,000円未満」が最も高い割合となった。

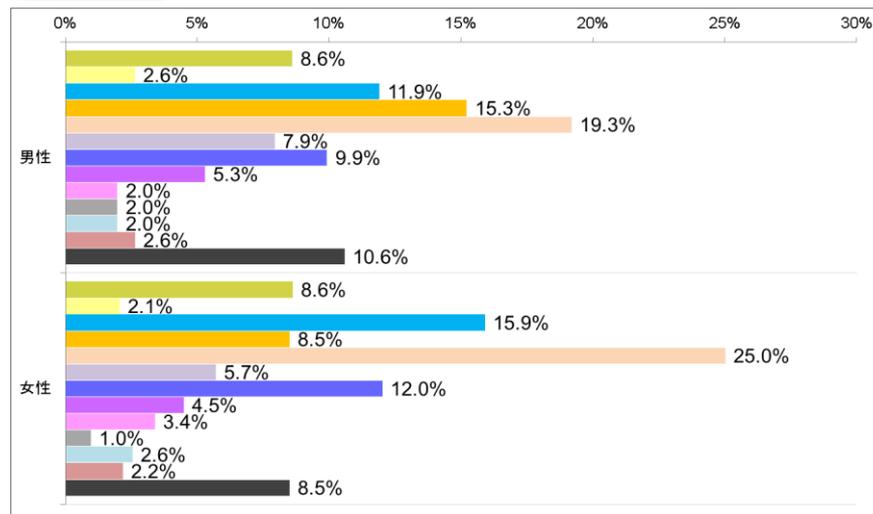
また、全体の91.4%の方が金額問わず計画的に貯蓄しているものの、「0円」と回答した割合を見てみると、20代が3.2%と最も少なく、60代以上が12.2%と最も高い割合という結果がわかった。



全体



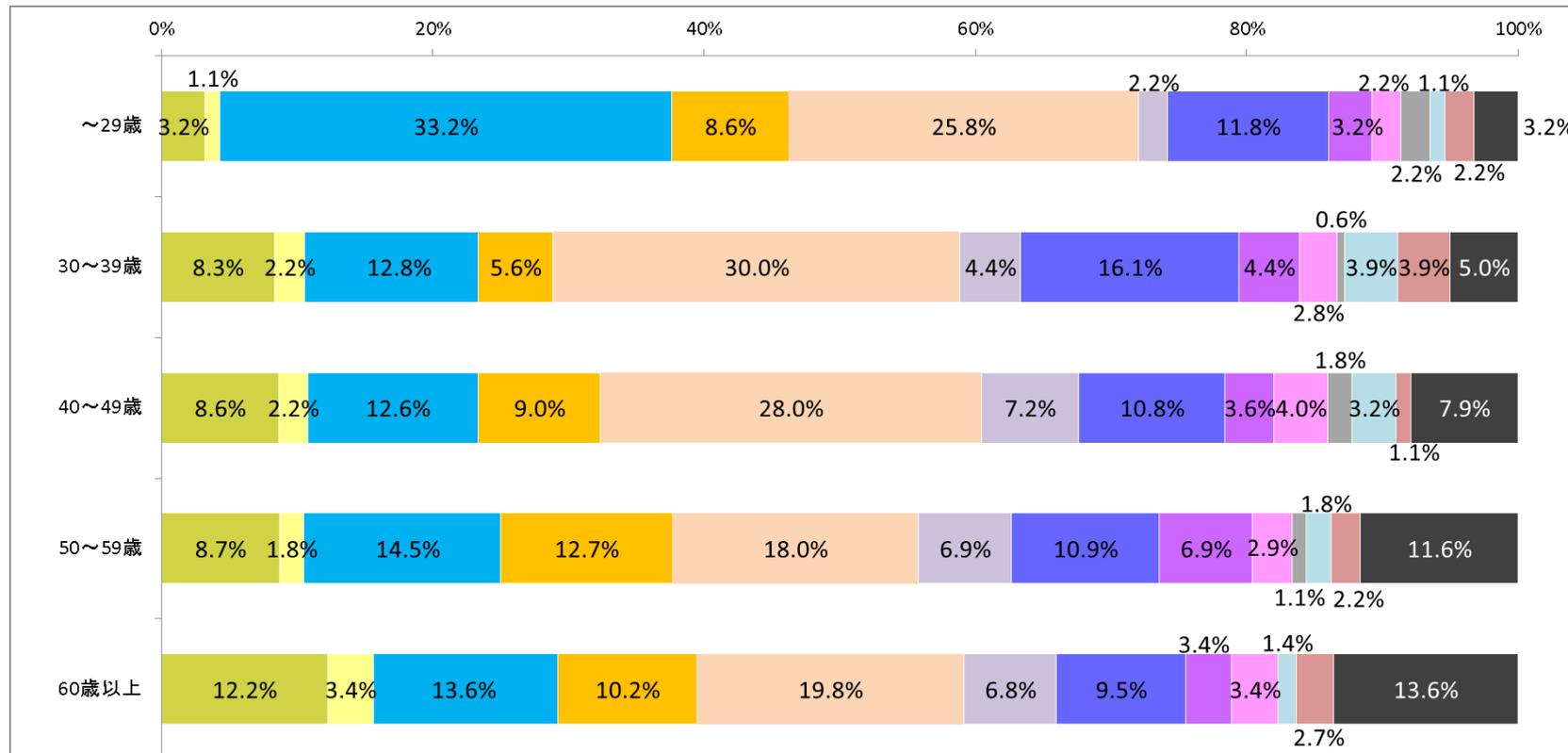
男女別



1. 2019年を振り返って

- 0円
- 1～5,000円未満
- 5,000～10,000円未満
- 10,000～20,000円未満
- 20,000～30,000円未満
- 30,000～40,000円未満
- 40,000～50,000円未満
- 50,000～60,000円未満
- 60,000～70,000円未満
- 70,000～80,000円未満
- 80,000～90,000円未満
- 90,000～100,000円未満
- 100,000円以上

年代別



1. 2019年を振り返って

1-3. 消費増税前と比べて消費増税後の生活に変化はありましたか。

消費増税の前後で変化はあまりみられない

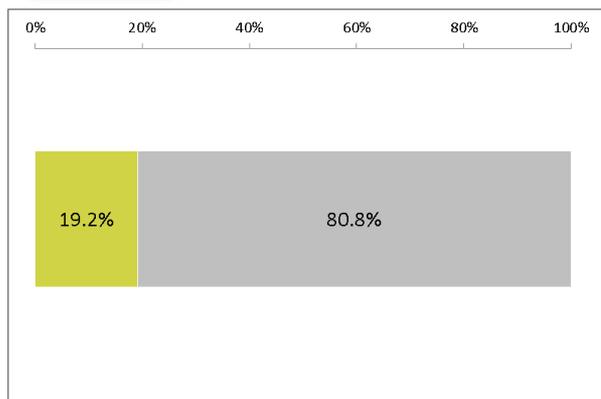
増税前と増税後の生活に変化があったかを尋ねたところ、「変化なし」と回答した割合が80.8%となった。また、年代別を見ても、全ての世代の約8割は消費増税後の生活に変化が見られないと回答した。

その理由について見てみると、変化があったと回答した人は「キャッシュレス決済を使うようになった」「家計の支出が増えた」「外食を控えるようになった」「不要な物は控える等、節約するようになった」という意見が多くみられ、反対に変化がなかったと回答した人は、「大きな買い物は増税前に購入した」「特に増税を気にしていない」「キャッシュレス決済のポイント還元があるため」「増税後に高額な買い物がなく、実感していない」という意見が多く見られた。

2019年10月から2020年6月まで政府によるキャッシュレス決済に対するポイント還元制度を利用することができることや、軽減税率など様々な制度の活用により、今はまだ多くの人々が生活の変化を感じていないという結果が見られた。

■ あり ■ なし

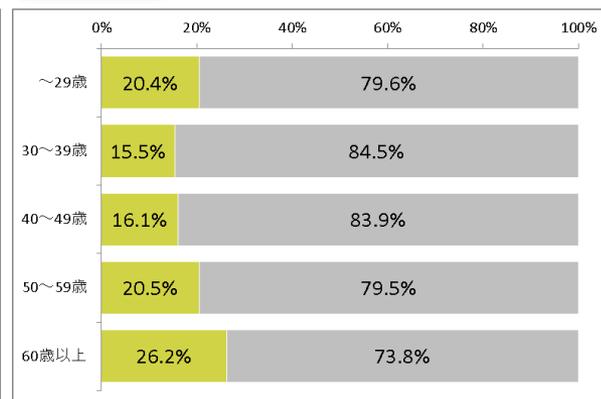
全体



男女別



年代別



1. 2019年を振り返って

1-4. あなたにとって、2019年はどんな年でしたか？

女性の方が「良い年だった」と回答

2019年を振り返って、「良い年だった」と回答した割合は前年比3.2ポイント減の31.2%となり、「悪い年だった」の回答を13.1ポイント上回った。

男女別で見ると、女性の方が「良い年だった」と回答する割合が高い結果となった。

また、「良い年だった」と回答した割合を年代別で見ると、30代が前年比1.7ポイント増の40.7%と最も高い割合となり、60代以上が前年比7.6ポイント減の22.2%と最も低い割合となった。60代以上では、「悪い年だった」と回答した割合が「良い年だった」の回答を1.5ポイント上回る結果となった。

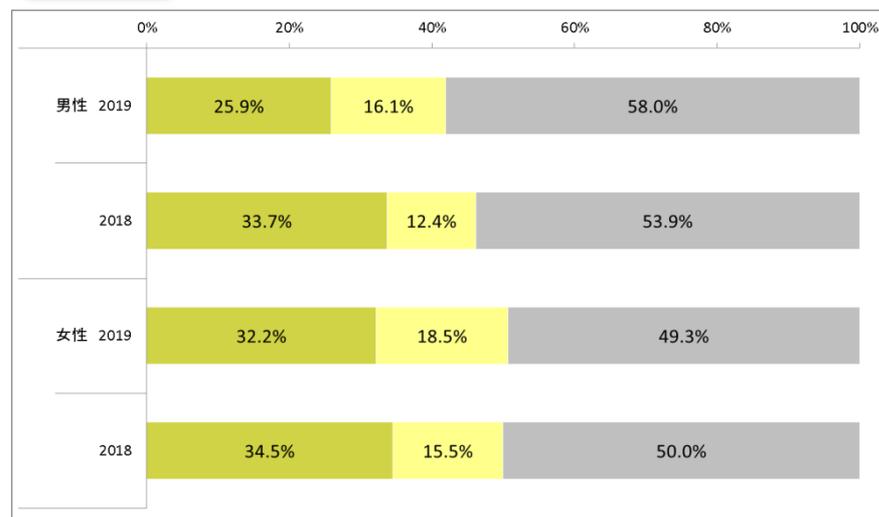
総じて2019年を振り返ると、青森県民は相応に穏やかに過ごした年だったと言える。

■ ① 良い年だった ■ ② 悪い年だった ■ ③ いつもと変わらない年だった

全体



男女別



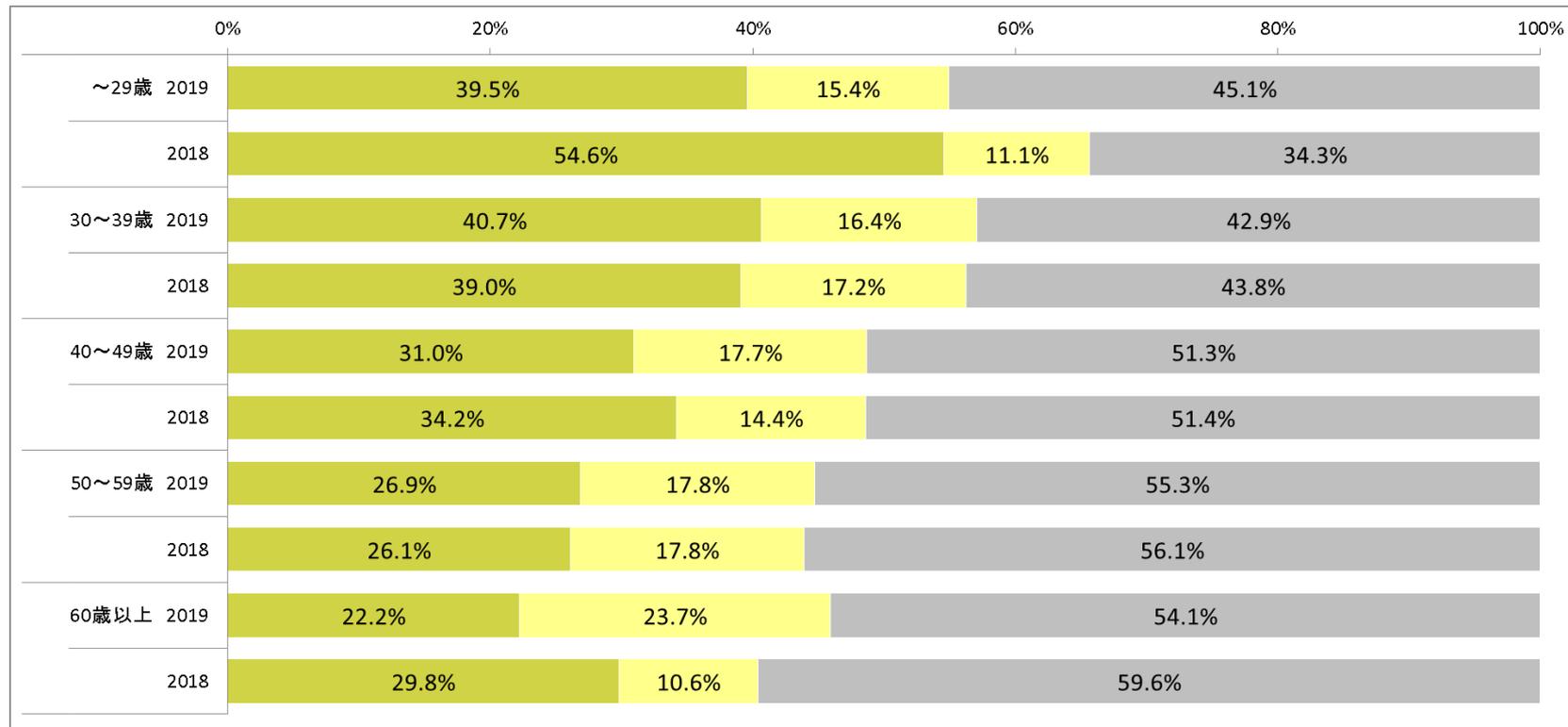
1. 2019年を振り返って

■ ① 良い年だった

■ ② 悪い年だった

■ ③ いつもと変わらない年だった

年代別



1. 2019年を振り返って

1-5. 「良い年だった」理由を教えてください。（複数回答）

健康が一番の理由

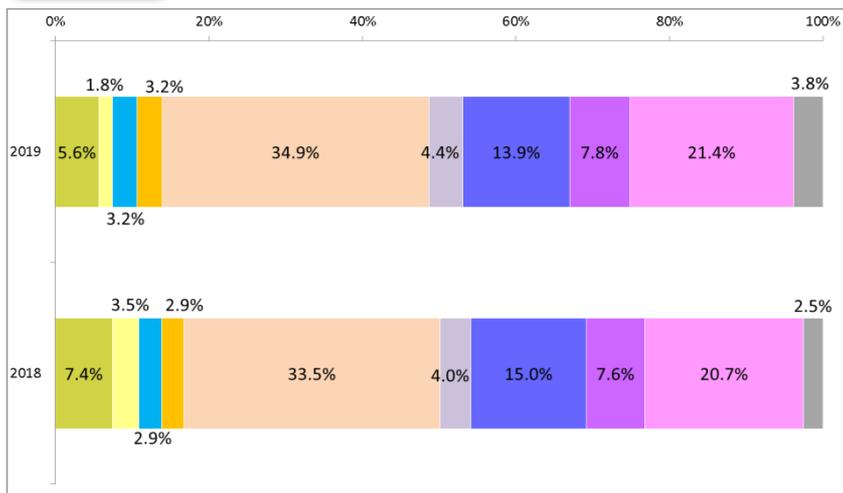
2019年が「良い年だった」と回答した人に理由を尋ねたところ、「⑤健康に過ごせた」が前年比1.4ポイント増の34.9%で最も高い割合となった。

次いで、「⑨趣味や娯楽で充実した余暇を過ごせた」が前年比0.7ポイント増の21.4%、「⑦お祝い事があった」が前年比1.1ポイント減の13.9%となった。「給料やボーナスが増えた」等の経済的な理由よりも「健康」「充実した余暇」「お祝い事」が個人の満足度には影響が高い結果となった。

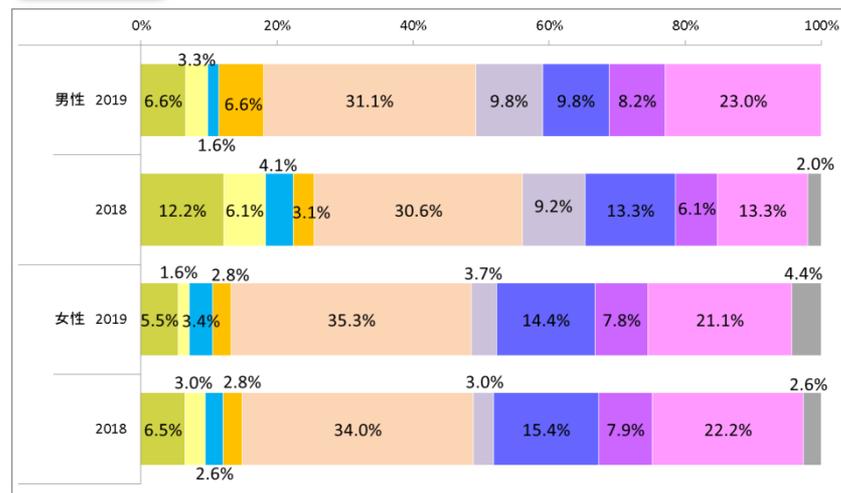
男女別で見ると、男性の方が「自己研鑽が出来た」を理由に挙げる割合が高く、女性は「お祝い事があった」を挙げる割合が高い結果となった。

- ①毎月の給料が増えた
- ②ボーナスが増えた
- ③貯蓄(資産)が増えた
- ④雇用環境が改善した
- ⑤大きなケガや病気をせず健康に過ごせた
- ⑥自己研鑽が出来た
- ⑦お祝い事があった(結婚、子ども(孫)誕生など)
- ⑧住宅や車など大きな買い物が出来た
- ⑨趣味や娯楽などで充実した余暇を過ごすことが出来た
- ⑩その他

全体



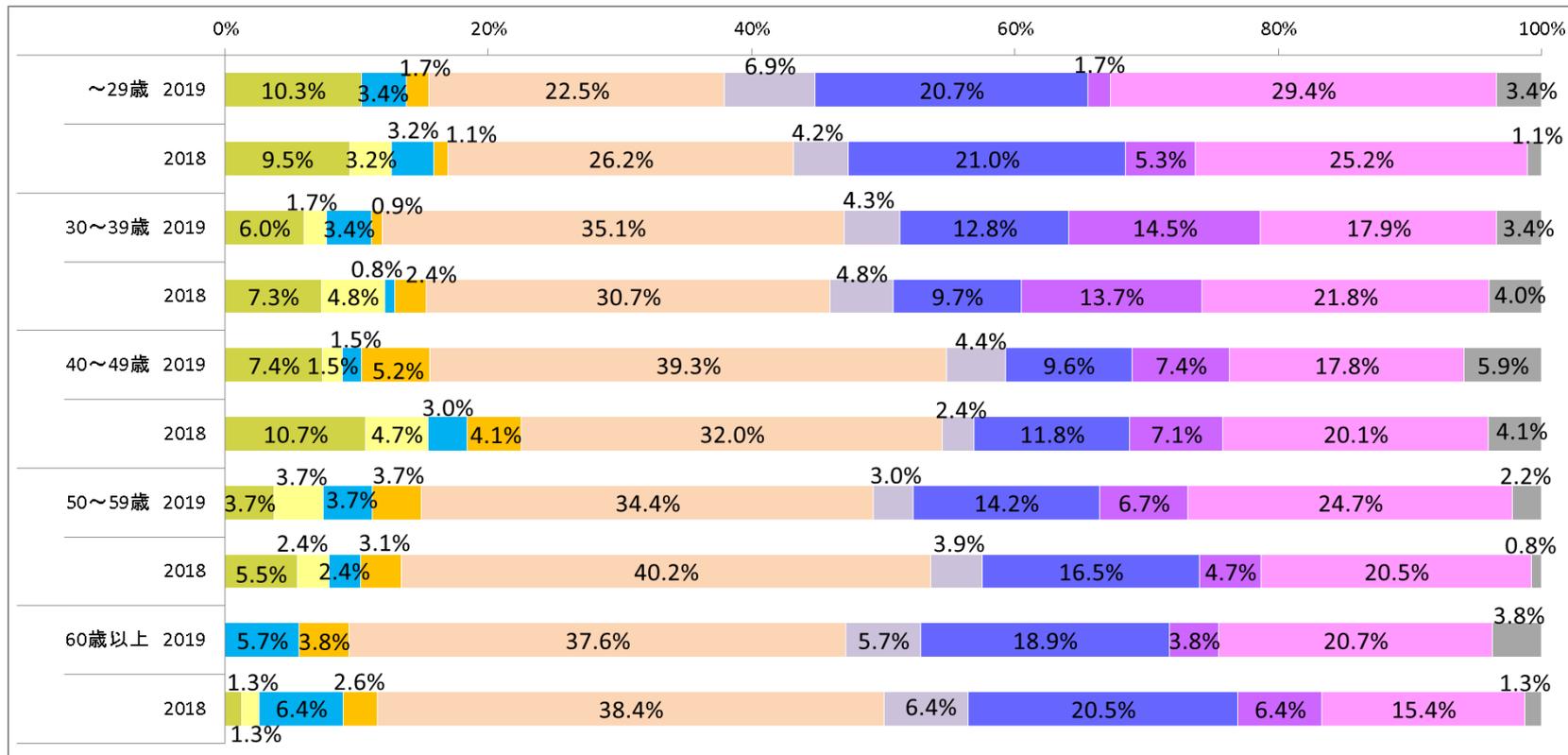
男女別



1. 2019年を振り返って

- ①毎月の給料が増えた
- ②ボーナスが増えた
- ③貯蓄(資産)が増えた
- ④雇用環境が改善した
- ⑤大きなケガや病気をせず健康に過ごせた
- ⑥自己研鑽が出来た
- ⑦お祝い事があった(結婚、子ども(孫)誕生など)
- ⑧住宅や車など大きな買い物が出来た
- ⑨趣味や娯楽などで充実した余暇を過ごすことが出来た
- ⑩その他

年代別



【その他コメント】

- ・法人設立ができた（40代・自営・女性）
- ・子どもの進学や就職がきまった（複数）
- ・夫の単身赴任が終わった（40代・民間・女性、50代・その他・女性）

1. 2019年を振り返って

1-6. 「悪い年だった」理由を教えてください。（複数回答）

「収入や貯蓄（資産）等が減りそうだから」が増加

2019年が「悪い年だった」と回答した人に理由を尋ねたところ、「⑤健康に過ごすことが出来なかった」が前年比9.5ポイント減の20.4%で最も高い割合となった。次いで、「②ボーナスが減った」が前年比13.5ポイント増の19.5%、「③貯蓄（資産）が減った」が前年比1.5ポイント増の15.8%となった。

男女別では、男女共に「④雇用改善が悪化した」「⑤健康に過ごすことが出来なかった」が減少しており、特に女性は前年に比べて改善が見られた。

年代別で見ると、全ての年代で「⑤健康に過ごすことが出来なかった」が前年に比べて減少する結果となり、最も高い割合は60代以上の前年比16.2ポイント減23.0%という結果となった。

- ①毎月の給料が減った
- ②ボーナスが減った
- ③貯蓄（資産）が減った
- ④雇用環境が悪化した
- ⑤健康に過ごすことが出来なかった
- ⑥自己研鑽が出来なかった
- ⑦住宅や車など大きな買い物が出来なかった
- ⑧趣味や娯楽などで充実した余暇を過ごすことが出来なかった
- ⑨その他

全体



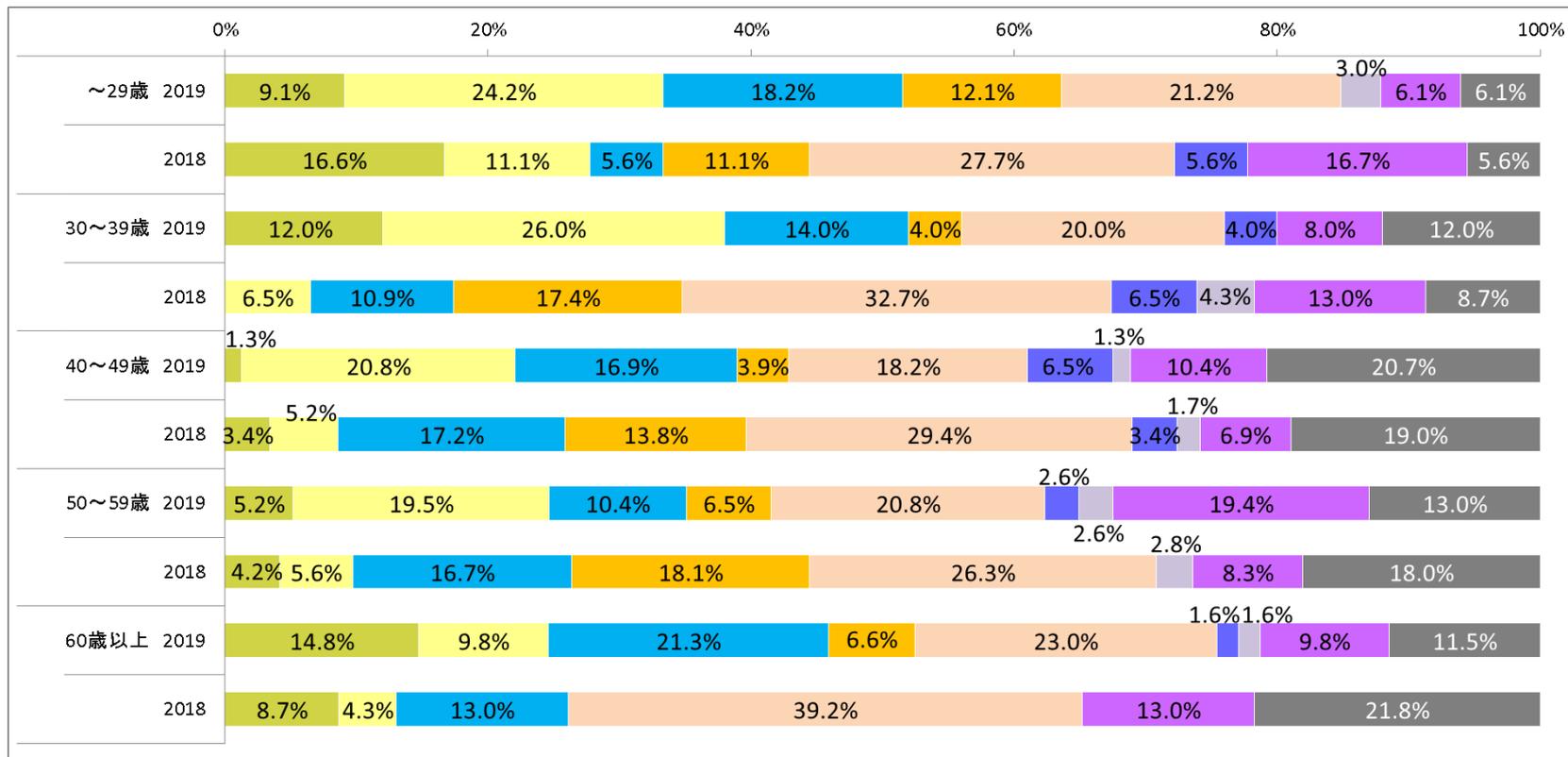
男女別



1. 2019年を振り返って

- ①毎月の給料が減った
- ②ボーナスが減った
- ③貯蓄(資産)が減った
- ④雇用環境が悪化した
- ⑤健康に過ごすことが出来なかった
- ⑥自己研鑽が出来なかった
- ⑦住宅や車など大きな買い物が出来なかった
- ⑧趣味や娯楽などで充実した余暇を過ごすことが出来なかった
- ⑨その他

年代別



【その他コメント】

- ・ 事故にあった（複数）
- ・ 身内の不幸（複数）
- ・ 親の介護が始まった（複数）

2. 2020年の展望について

2-1. 2020年は何に最もお金を使おうと考えていますか。

旅行→子どもの教育費→食費

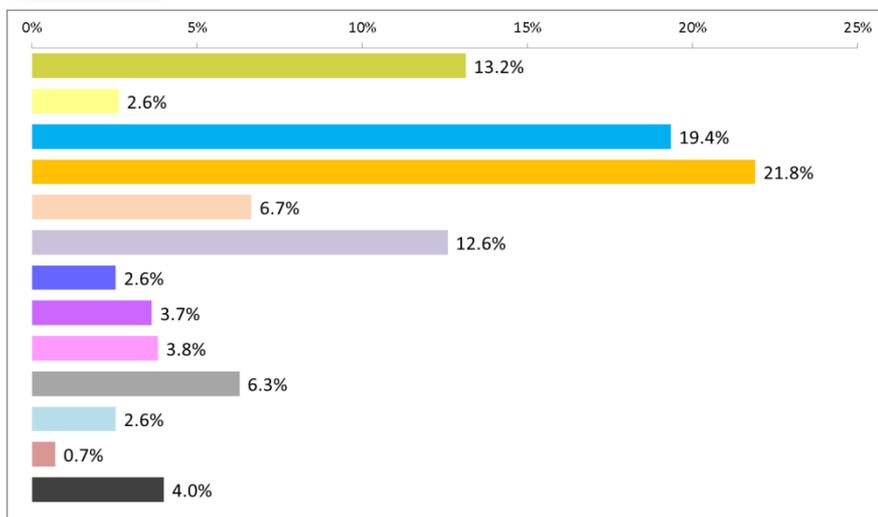
2020年は何に最もお金を使うか尋ねたところ、「④旅行」が21.8%と最も高い割合となった。次いで、「③子どもの教育費」が19.4%、「①食費」が13.2%となった。

男女別では、男性の方が「⑥趣味・娯楽」と回答する割合が高く、女性の方が「④旅行」と回答する割合が高い結果となっており、これは『1-1. 2019年に最もお金を使ったか』の男女別の傾向と同じような結果となった。

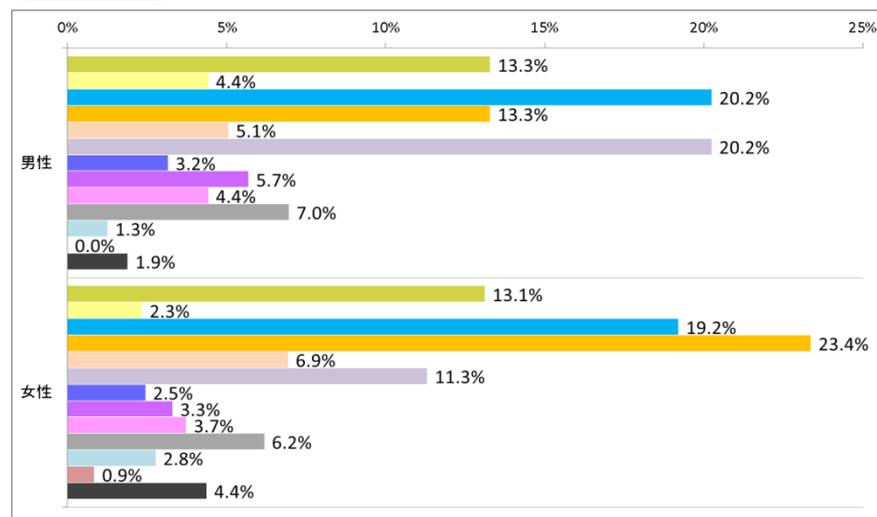
年代別で見ると、40代の「③子どもの教育費」が35.6%と最も高い割合となったが、その他全ての年代では「④旅行」が20%を超え高い割合となっている。また、他の世代に比べてお金を自由に使えることから20代では「④旅行」と「⑥趣味・娯楽」が同率でそれぞれ25.6%と高い割合となっている。

- ①食費
- ②交際費
- ③子どもの教育費
- ④旅行
- ⑤家具・家電
- ⑥趣味・娯楽
- ⑦住宅購入
- ⑧自動車購入
- ⑨金融商品・資産運用
- ⑩健康・医療
- ⑪冠婚葬祭
- ⑫自分の習い事
- ⑬その他

全体



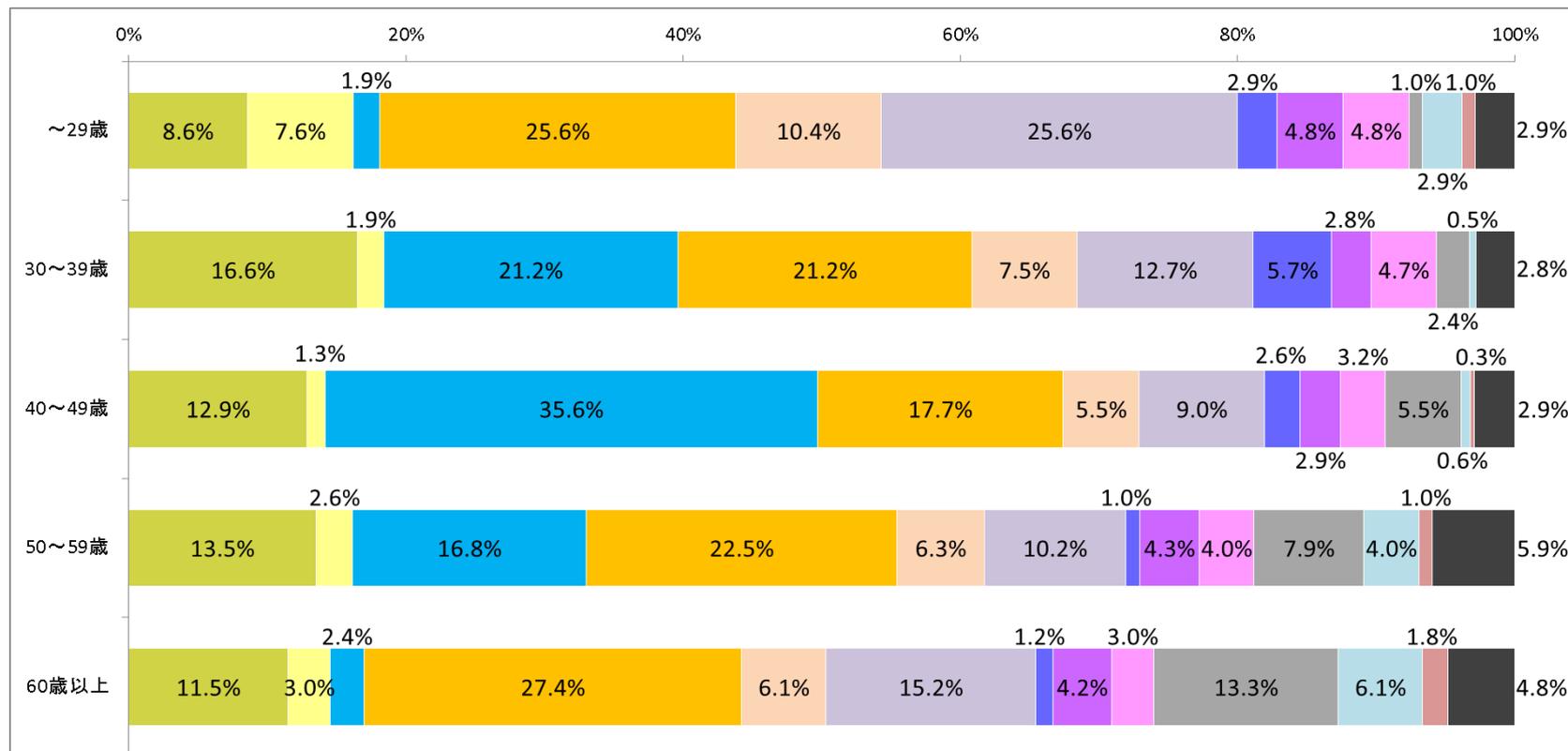
男女別



2. 2020年の展望について

- ①食費
- ②交際費
- ③子どもの教育費
- ④旅行
- ⑤家具・家電
- ⑥趣味・娯楽
- ⑦住宅購入
- ⑧自動車購入
- ⑨金融商品・資産運用
- ⑩健康・医療
- ⑪冠婚葬祭
- ⑫自分の習い事
- ⑬その他

年代別



【その他コメント】

- ・リフォーム（複数）
- ・貯蓄（複数）

3. 備えが必要（経済的に不安）と感ずること

人生100年時代「老後の生活費」に不安増

「備えが必要（経済的に不安）」と感ずることでもっとも高い割合となったのは、「⑤老後の生活費」で前年比3.9ポイント増の40.9%となった。次いで、「⑥病気や介護に備える資金」が前年比0.3ポイント減の24.4%、「③子どもの学費」が前年比2.6ポイント減の17.0%となっており、昨年とほぼ同様の結果となった。

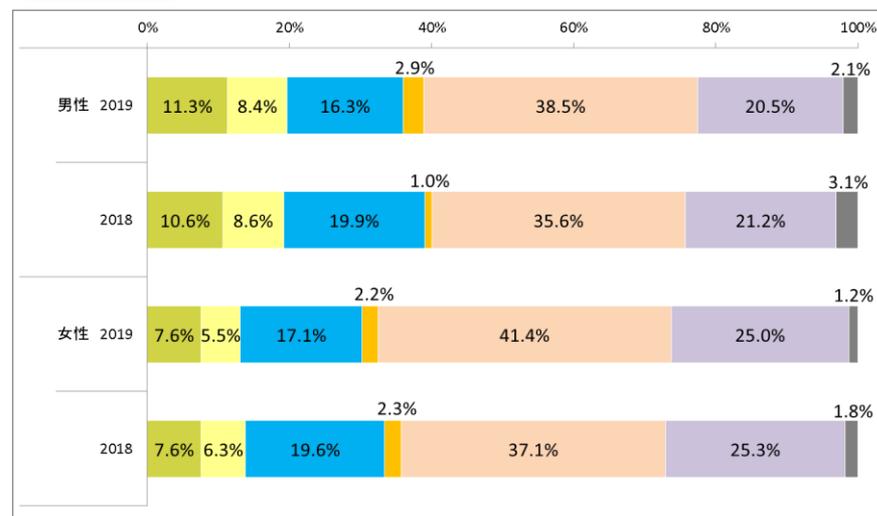
年代別で見ると、全ての世代で「⑤老後の生活費」に対する割合が増加しており、20代でも前年比6.5ポイント増の34.6%となる等、世代を問わず老後の生活に対して経済的な不安を感ずていることがわかった。2019年は老後資金不足に関する話題がニュースで大きく取り扱われ、多くの人々が耳にする機会が多かったことも割合が増加するきっかけとなったのではないだろうか。

- ①住宅ローンの支払い
- ②その他ローンの支払い
- ③子どもの学費
- ④家賃の支払い
- ⑤老後の生活費
- ⑥病気や介護に備える資金
- ⑦その他

全体



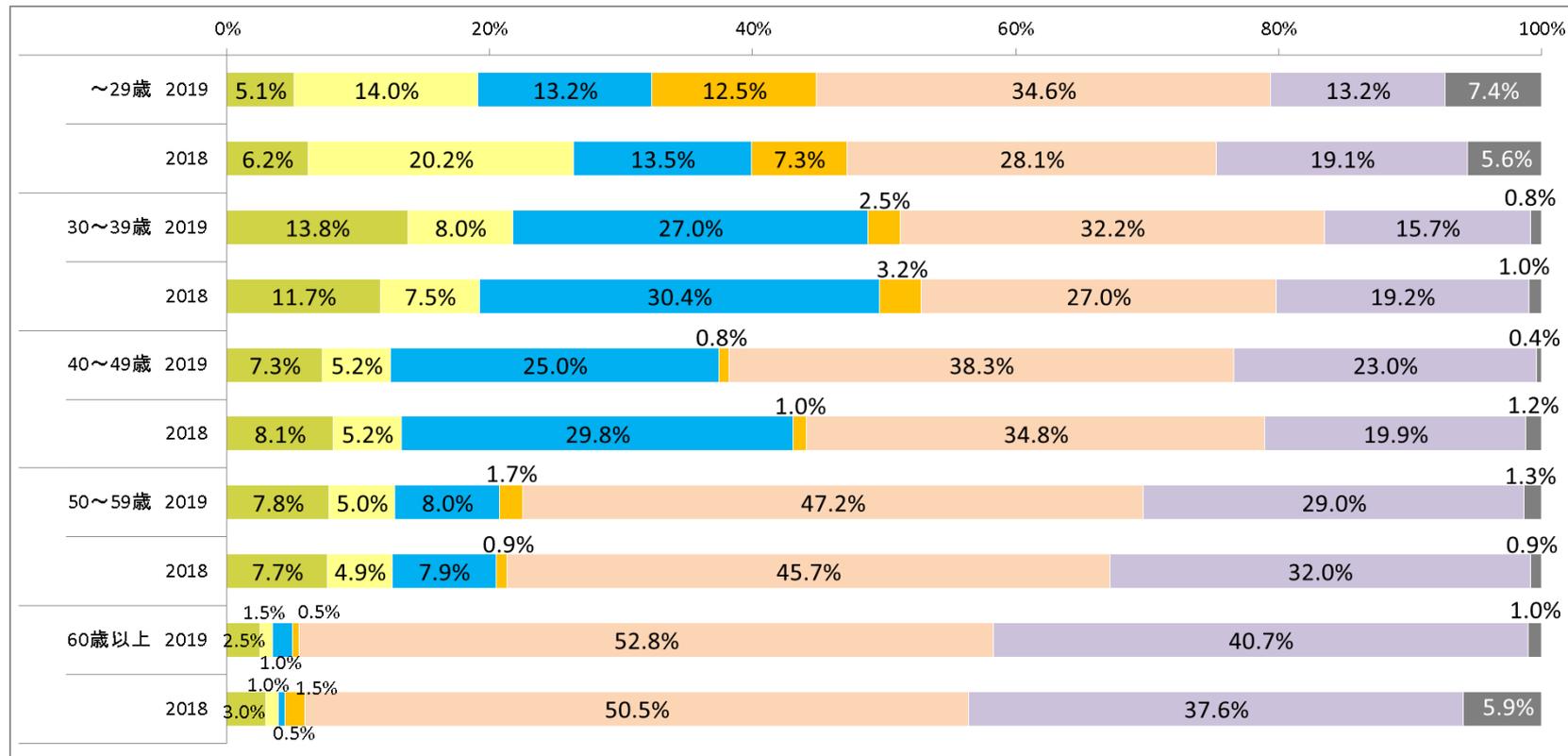
男女別



3. 備えが必要（経済的に不安）と感ずること

■ ①住宅ローンの支払い ■ ②その他ローンの支払い ■ ③子どもの学費 ■ ④家賃の支払い ■ ⑤老後の生活費 ■ ⑥病気や介護に備える資金 ■ ⑦その他

年代別



【その他コメント】

- ・リフォーム、自宅の維持費（複数）
- ・結婚、出産などの費用（20代・民間・女性）
- ・事業の安定（30代・自営・女性）

4. お金の支払いをする際の決済方法

4-1. あなたがお金を支払う時の決済方法は？

全ての年代で「電子マネー」の利用が増加

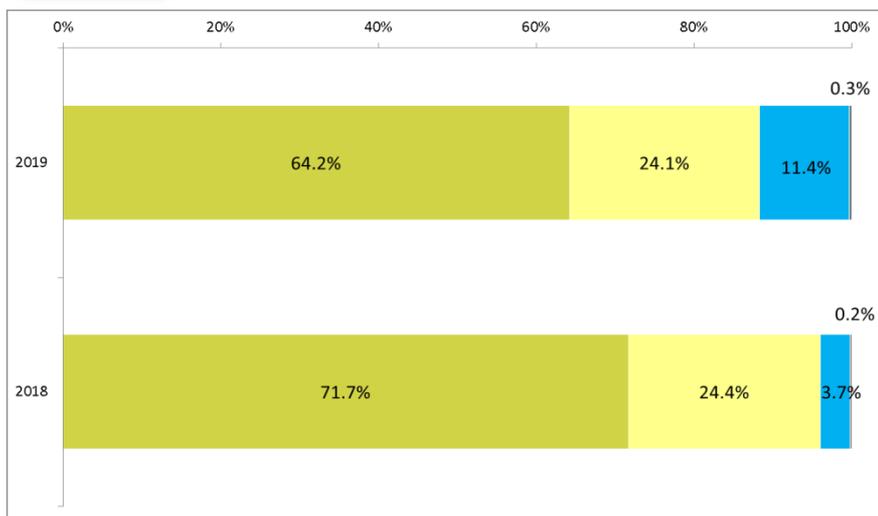
お金の支払いをする際の決済方法について尋ねたところ、「現金」が前年比7.5ポイント減の64.2%と最も高い割合となった。次いで、「クレジットカード」が前年比0.3ポイント減の24.1%、「電子マネー」が前年比7.7ポイント増の11.4%となった。「その他」ではプリペイドカードやクレジットカード等のポイント支払いと回答する人もいた。

年代別で見ると、全ての世代で「現金」が前年に比べて減少し、なかでも50代は前年比14.3ポイント減と最も減少するなど、決済方法の変化が見られる結果となった。

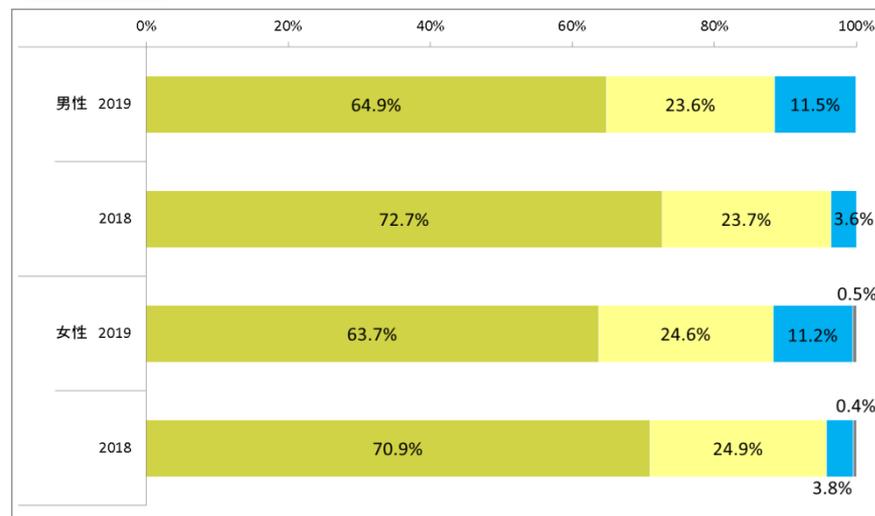
また、全ての年代で「電子マネー」が昨年を上回る結果となり、2019年10月の消費増税対策としてキャッシュレス決済のポイント還元などの各種施策により、消費者の決済方法に多少なりとも変化が見られた。

■ 現金 ■ クレジットカード ■ 電子マネー ■ その他

全体



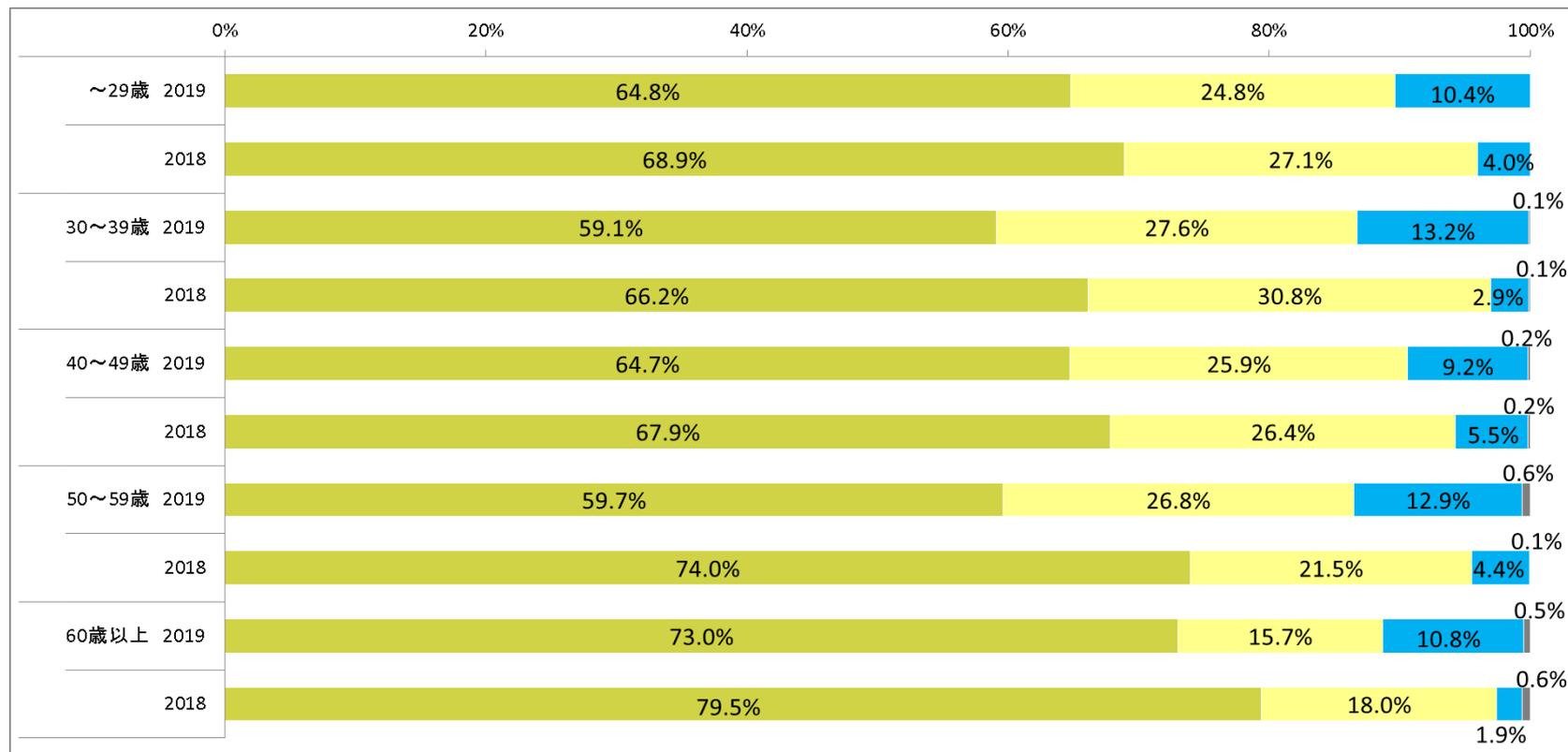
男女別



4. お金の支払いをする際の決済方法

■ 現金 ■ クレジットカード ■ 電子マネー ■ その他

年代別



4. お金の支払いをする際の決済方法

4-2. あなたが現在使用している決済サービスはどれですか。

WAONやnanacoなどの電子マネーが人気

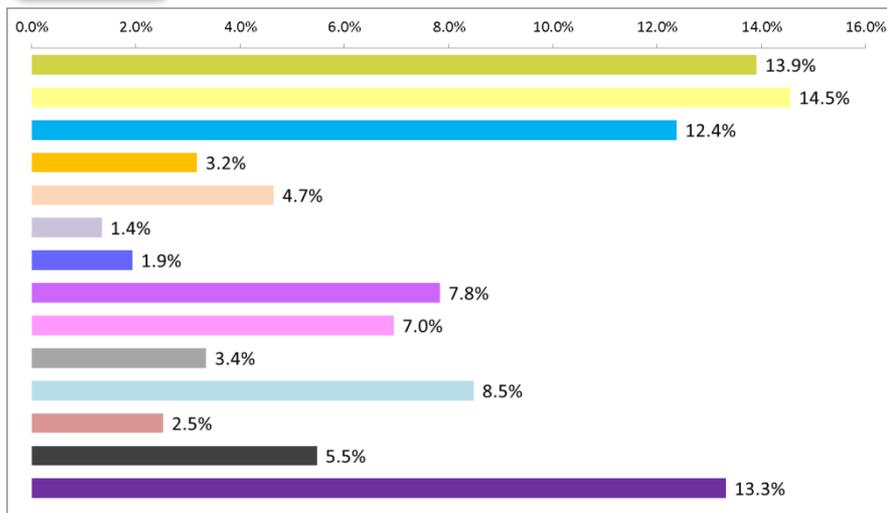
現在使用している決済サービスについて尋ねたところ、「②WAON」が14.5%と最も高い割合となった。次いで、「①suica、PASMO(交通系)」が13.9%、「③nanaco」が12.4%という結果になった。

男女別では、男性に比べて女性の方が「②WAON」や「③nanaco」などの電子マネーの利用割合が高く、その他コメントでもコジカやベニカ等のスーパー各社の電子マネーと回答する人が多いことがわかった。

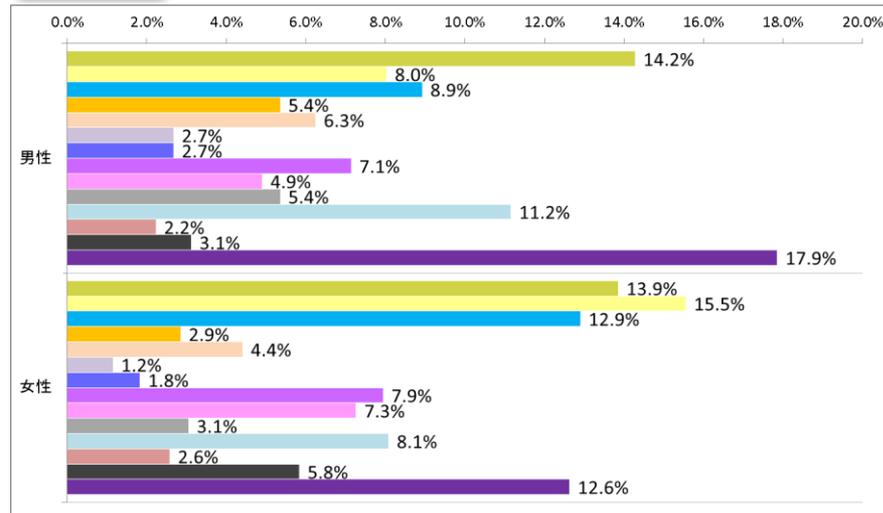
年代別で見ると20代と60代以上では「①suica、PASMO(交通系)」が最も高い割合となり、30代から50代までは「②WAON」が最も利用されていることがわかった。また、60代以上は約3割の方が決済サービスを利用していないと回答しているものの、残りの7割の方が電子マネーや携帯電話を使用した決済サービスを行っていることがわかった。

- ①suica、PASMO (交通系)
- ②WAON
- ③nanaco
- ④楽天Edy
- ⑤ I D
- ⑥Apple Pay
- ⑦Origami Pay
- ⑧d払い
- ⑨LINE Pay
- ⑩楽天Pay
- ⑪Pay Pay
- ⑫メルペイ
- ⑬その他
- ⑭使用しているものはない

全体



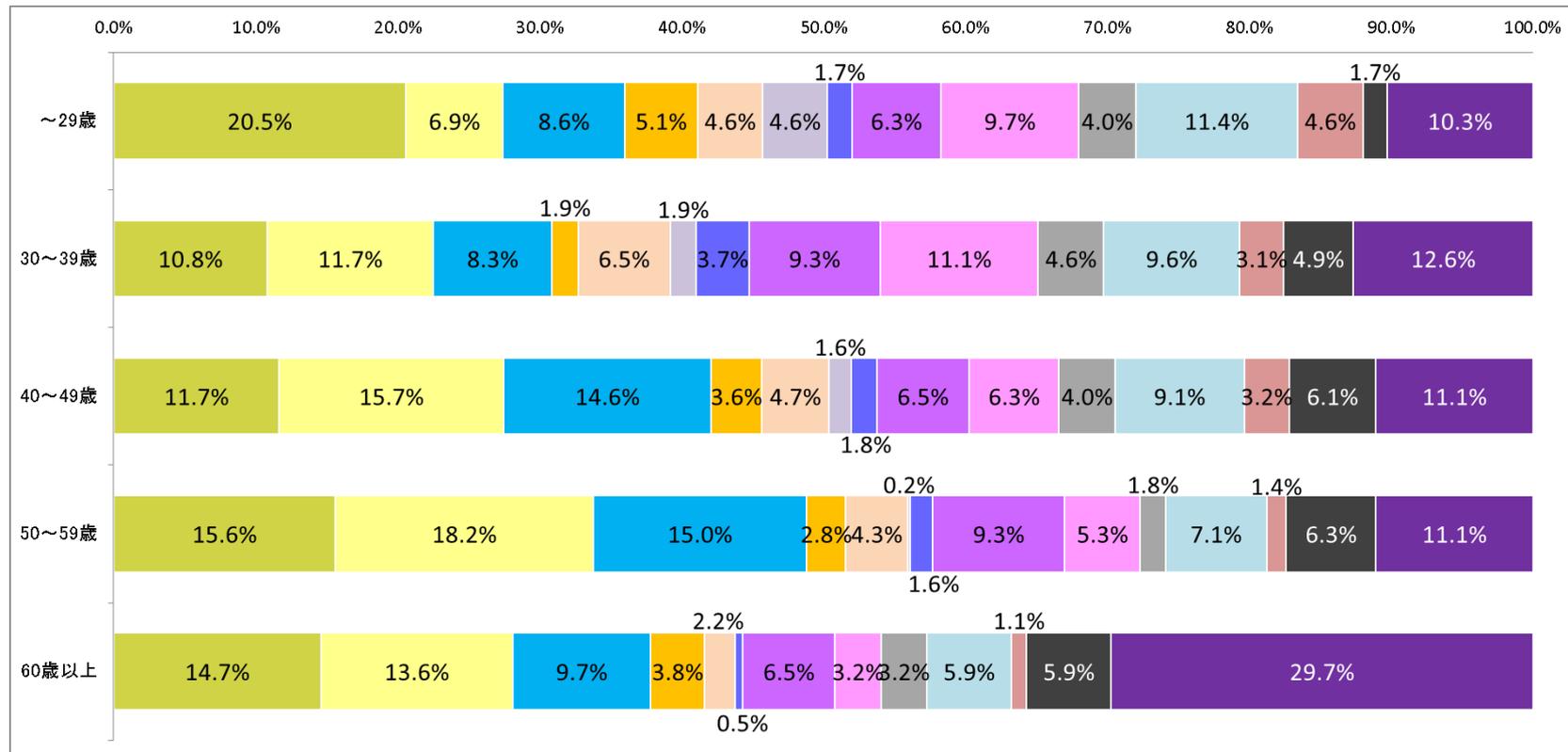
男女別



4. お金の支払いをする際の決済方法

- ①suica、PASMO（交通系）
- ②WAON
- ③nanaco
- ④楽天Edy
- ⑤ I D
- ⑥Apple Pay
- ⑦Origami Pay
- ⑧d払い
- ⑨LINE Pay
- ⑩楽天Pay
- ⑪Pay Pay
- ⑫メルペイ
- ⑬その他
- ⑭使用しているものはない

年代別



【その他コメント】

- ・ auWALLET、 au PAY（複数）
- ・ スーパー各社の電子マネー（複数）
- ・ QUICK Pay（複数）

5. 資産運用について

5-1. NISA(ニーサ)やiDeCo(イデコ)等、少額からでも始められる資産形成に役立つ制度を知っていますか？

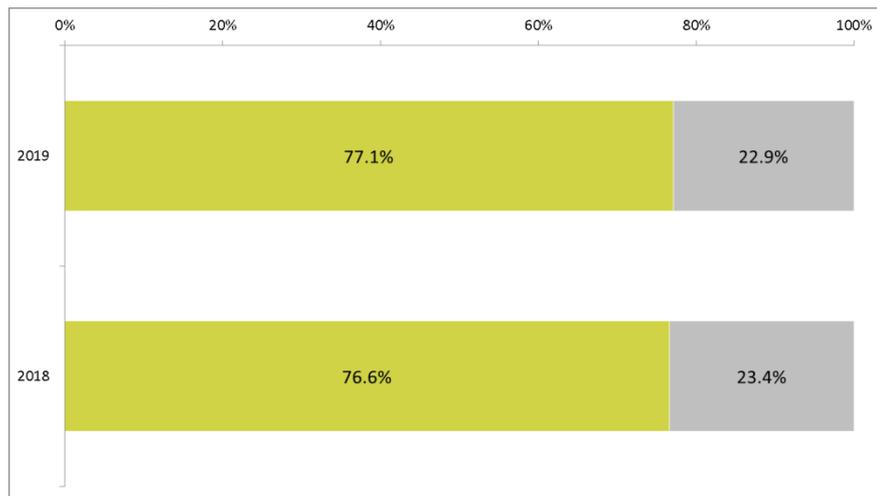
制度の周知は、やや一服感がみられる

NISA（ニーサ）やiDeCo（イデコ）等、少額からでも始められる資産形成に役立つ制度を知っているか尋ねたところ、前年比0.5ポイント増の77.1%が「知っている」と回答し、幅広い年代で制度の周知は進んでいるものの、やや一服感が見られる結果となった。

年代別に見ると、40代で「知っている」割合は、前年比5.6ポイント増の81.0%と最も高い割合となった。次いで、30代・50代で「知っている」割合が前年に比べて多少減少したものの、約8割弱と高い割合となっている。

■ ①知っている ■ ②知らない

全体



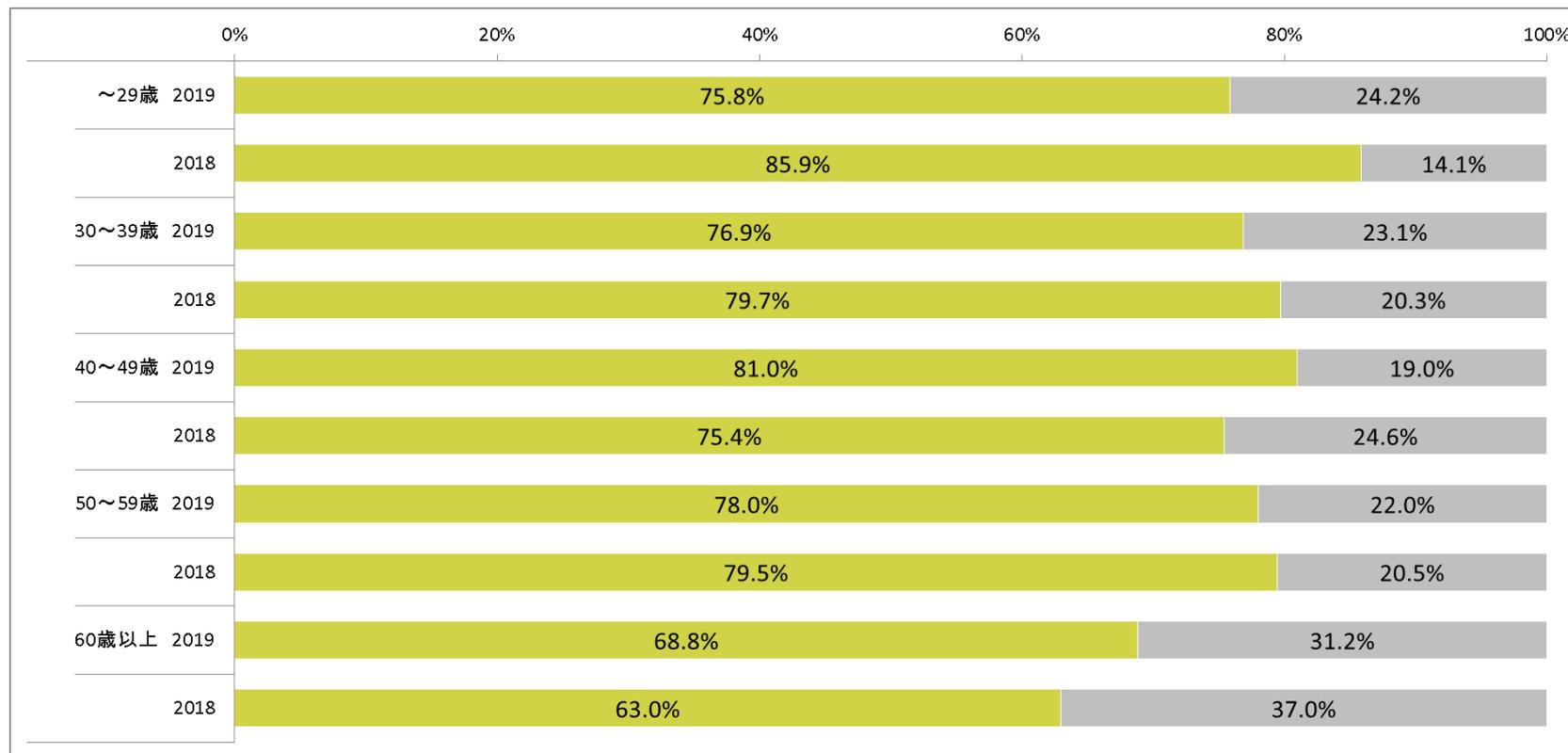
男女別



5. 資産運用について

■ ①知っている ■ ②知らない

年代別



5. 資産運用について

5-2. 資産運用に興味はありますか？

年齢が若いほど関心が高い

資産運用に興味があるか尋ねたところ、「興味がある」と回答した割合は、前年比0.2ポイント増の50.1%と「興味がない」とほぼ同率となった。

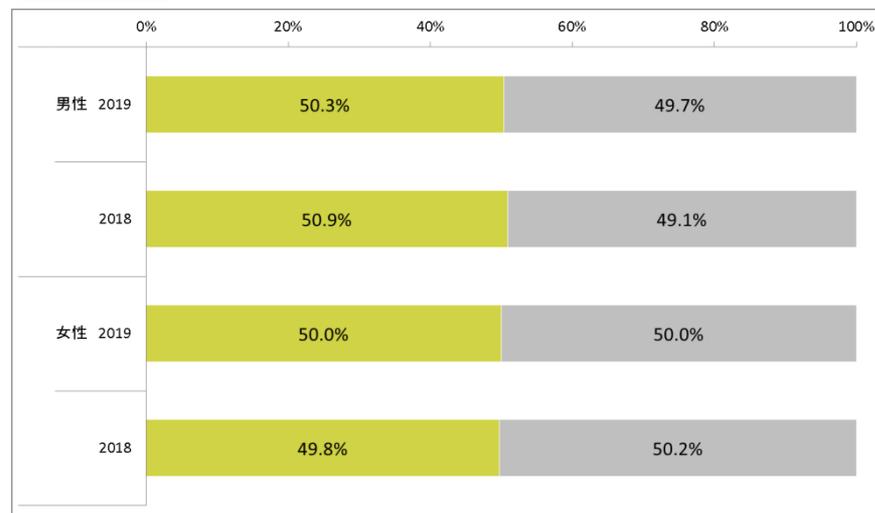
年代別で見ると、20代が前年比4.4%ポイント減の58.2%が「興味がある」と最も高い割合となっており、年齢が高くなるにつれて割合が低く、60代以上では前年比0.5ポイント減の33.8%と一番低い割合となっている。

■ ①興味がある ■ ②興味がない

全体



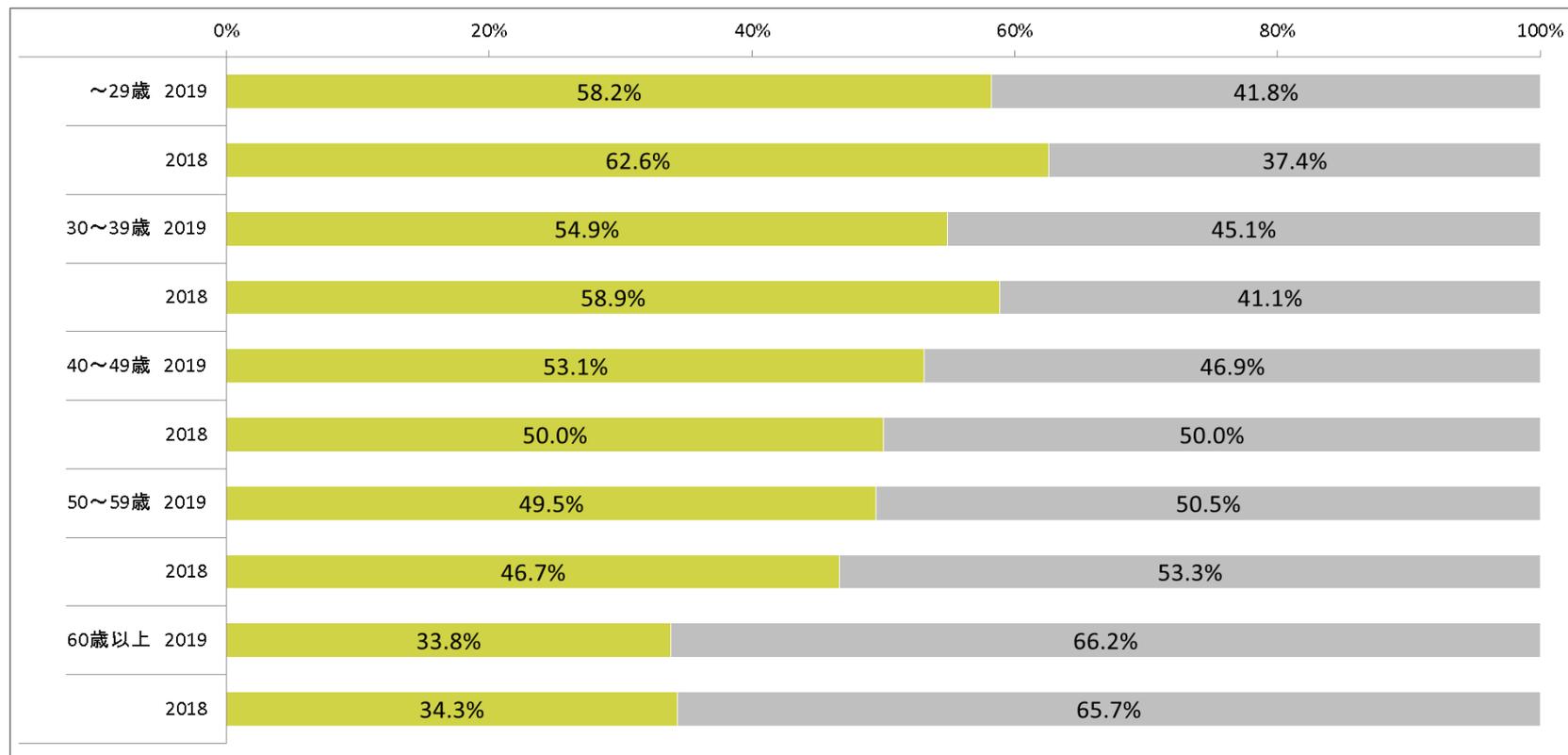
男女別



5. 資産運用について

■ ①興味がある ■ ②興味がない

年代別



5. 資産運用について

5-2-1. 資産運用について「興味がない」理由を教えてください。

全ての世代で必要性を感じつつも、運用に回すお金がない

質問5-2で資産運用に「興味がない」と回答した人に、「興味がない理由」を尋ねたところ、「①運用に回すお金がない」が前年比1.1ポイント増の36.1%と最も高い割合となった。次いで、「④（資産運用の）知識がないから」が前年比0.4ポイント増の24.7%となった。

年代別に見ると、40代で「①運用に回すお金がない」が前年比5.9ポイント増の41.1%と最も高い割合となり、全ての世代で「①運用に回すお金がない」と回答する割合が高い結果となった。また、20代では「④知識がない」という回答が前年比13.6ポイント増の39.1%と増加した。

- ①運用に回すお金がないから
- ②損失等の可能性があるから
- ③必要性を感じないから
- ④(資産運用の)知識がないから
- ⑤過去に失敗した経験があるから
- ⑥その他

全体



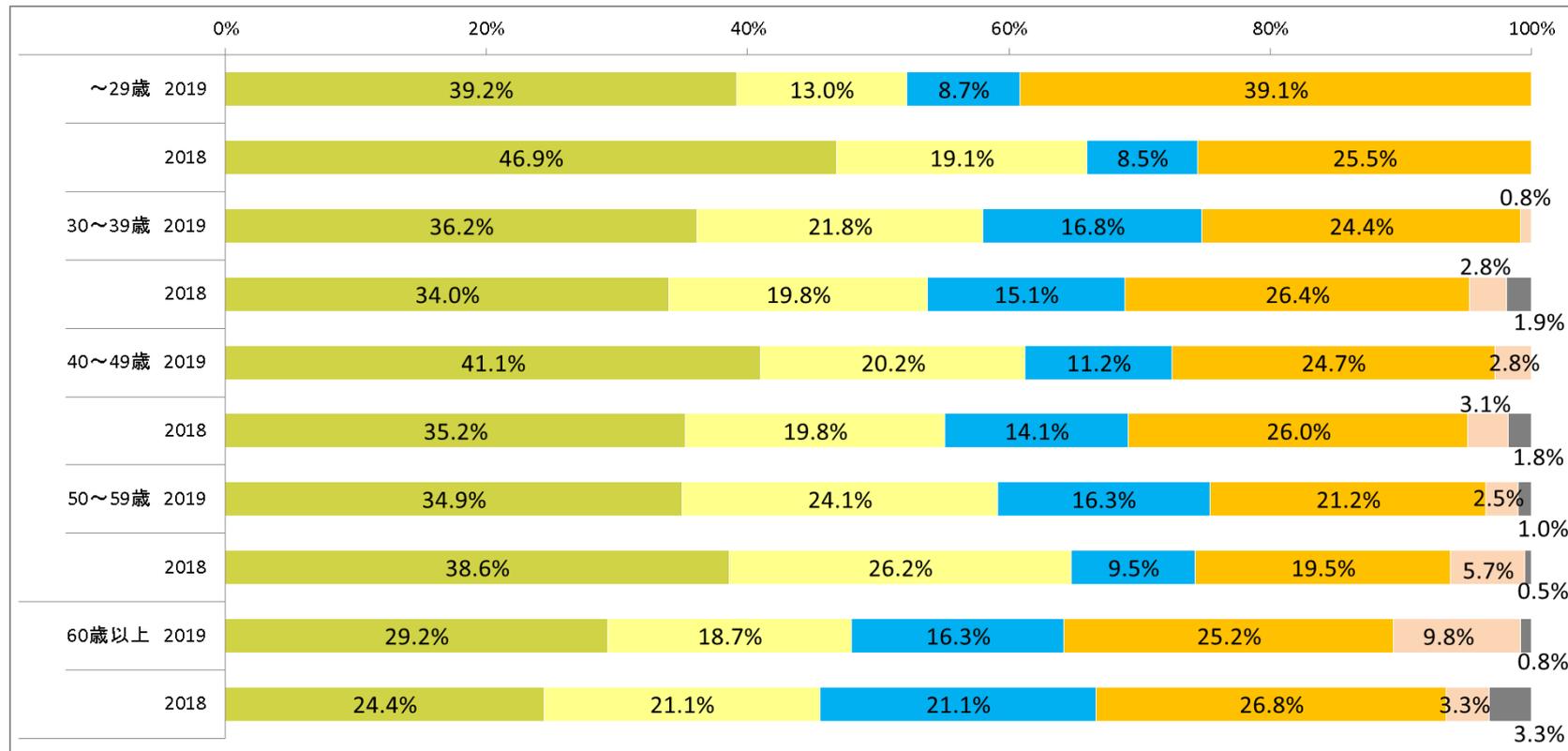
男女別



5. 資産運用について

- ①運用に回すお金がないから
- ②損失等の可能性があるから
- ③必要性を感じないから
- ④資産運用の知識がないから
- ⑤過去に失敗した経験があるから
- ⑥その他

年代別



【その他コメント】

・夫が運用しているので任せている（60代・民間・女性）

5. 資産運用について

5-3. 現在、何かしらの資産運用はしていますか？

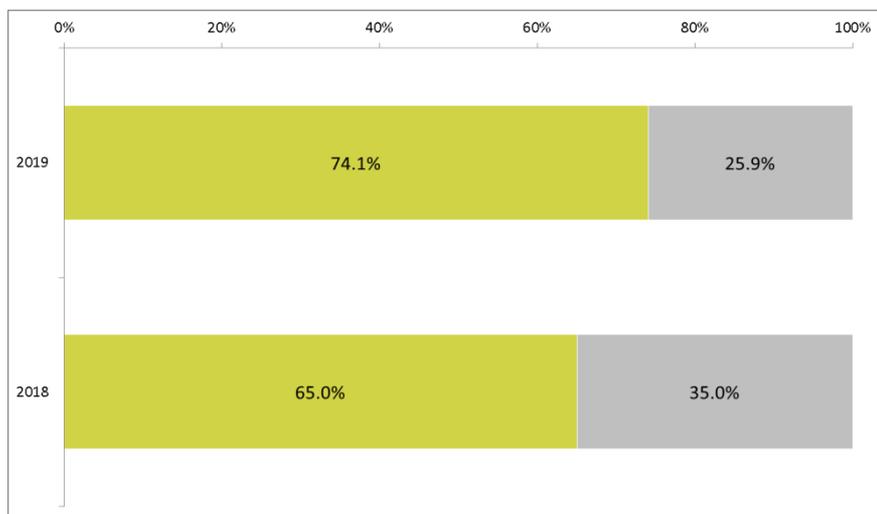
30代から60代以上では7割以上の方が資産運用をしている

質問5-2で資産運用に「興味がある」と回答した人に、資産運用をしているか尋ねたところ、「している」と回答した割合が前年比9.1ポイント増の74.1%と資産運用に興味がある人の大半は既に資産運用を開始しているとの結果となった。

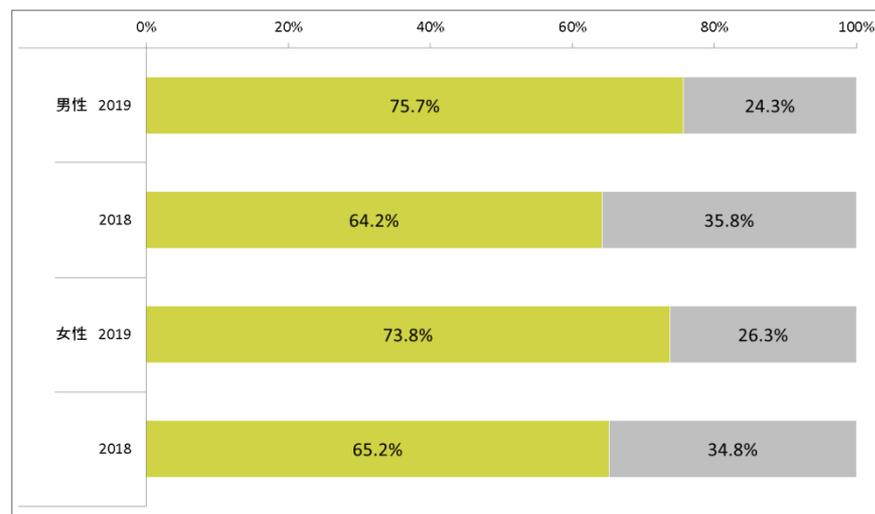
年代別で見ると、60代以上では前年比10.1%増の85.1%と最も高い割合となっている。一番低い割合は、20代の前年比9.7ポイント増の63.5%となったが、全ての世代で運用していると回答した割合が前年より増加していることがわかった。

■ ①している ■ ②していない

全体



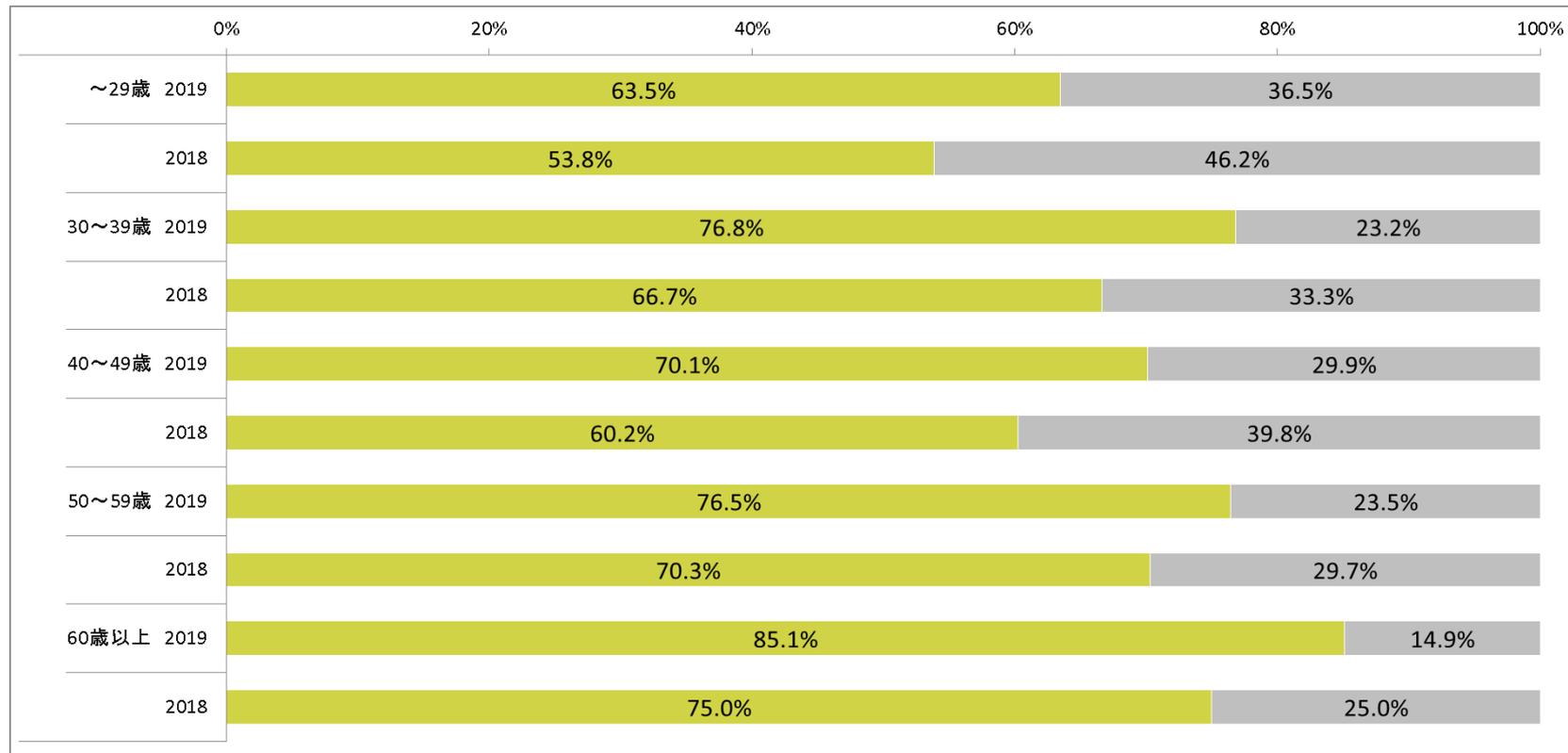
男女別



5. 資産運用について

■ ①している ■ ②していない

年代別



5. 資産運用について

5-3-1. 資産運用を始めていない一番の理由を教えてください。

興味はあるが「運用に回すお金がない」が最多割合

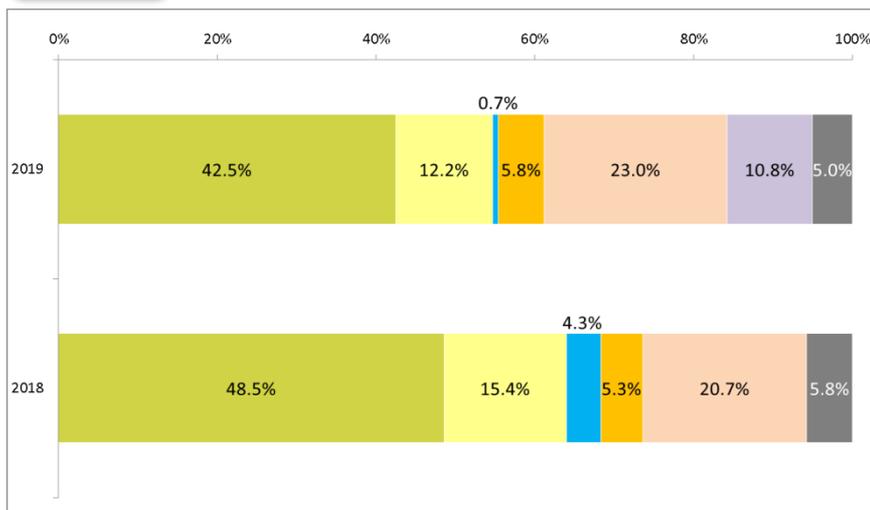
質問5-3で資産運用を「していない」と回答した人に資産運用を始めていない一番の理由を尋ねたところ、「①運用に回すお金がない」が6.0ポイント減の42.5%と最も高い割合となった。

次いで、「⑤情報収集中」が前年比2.3ポイント増の23.0%となった。

年代別で見ると、「①運用に回すお金がない」は20代・30代で高い割合となった。60代以上では、「損失等の可能性がある」が前年比31.2ポイント増の37.5%と高い割合となり、また「④相談する相手がいない」と回答した割合が前年比31.2ポイント増の37.5%と増加した。

- ①運用に回すお金がないから
- ②損失等の可能性があるから
- ③過去に失敗した経験があるから
- ④相談する相手がいないから
- ⑤現在、情報収集中
- ⑥説明を聞く時間がとれないから(2019年のみ)
- ⑦その他

全体



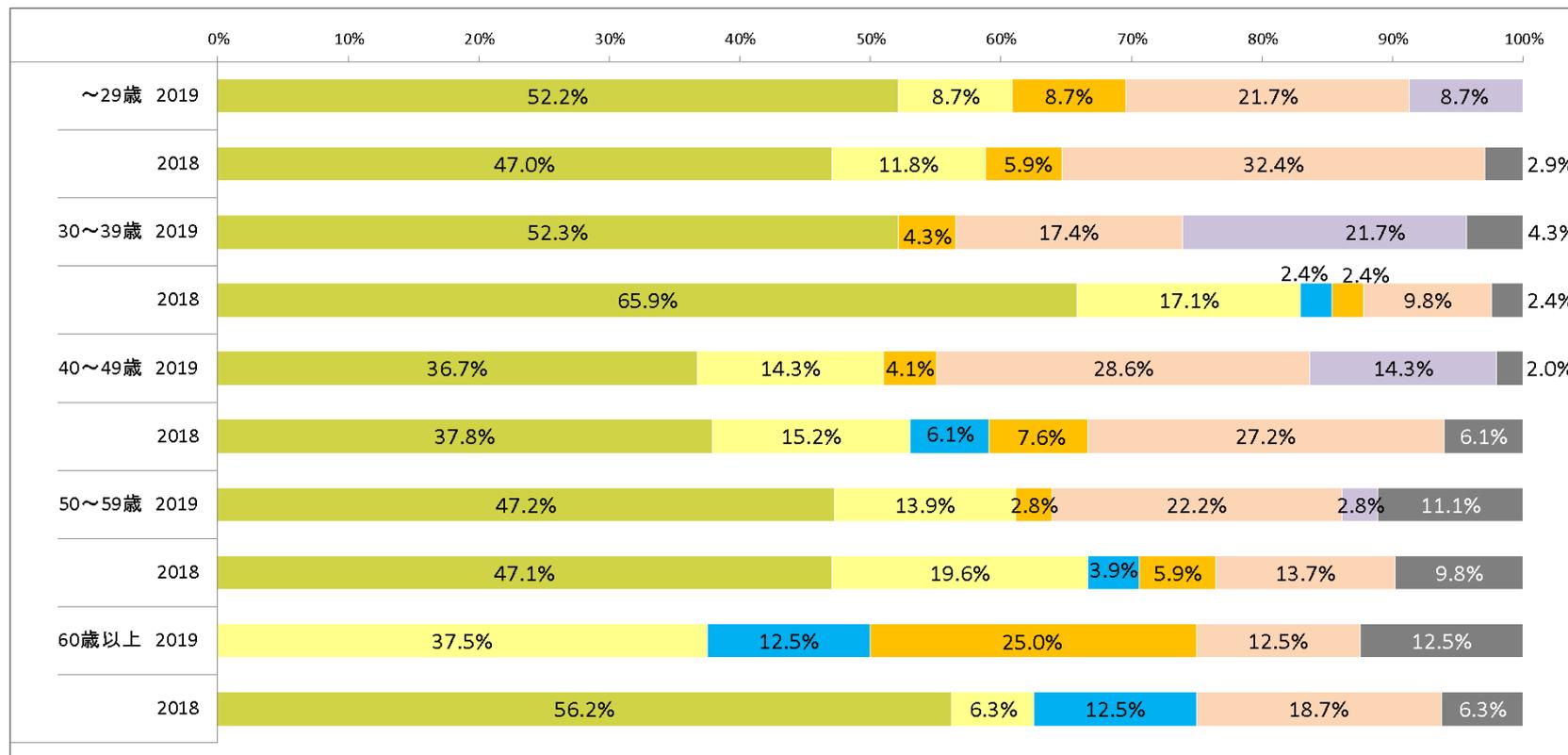
男女別



5. 資産運用について

- ①運用に回すお金がないから
- ②損失等の可能性があるから
- ③過去に失敗した経験があるから
- ④相談する相手がいないから
- ⑤現在、情報収集中
- ⑥説明を聞く時間がとれないから(2019年のみ)
- ⑦その他

年代別



【その他コメント】

・手数料が高い（50代・民間・女性）

5. 資産運用について

5-4. 資産運用を始めたきっかけを教えてください。

「自分で興味を持って」資産運用を開始

質問5-3で資産運用を「している」と回答した人に資産運用を始めたきっかけを尋ねたところ、「②自分で興味を持った」が前年比7.4ポイント増の46.0%と最多割合となった。次いで、「①金融機関に勧められた」が前年比7.4ポイント減の41.3%、「③周りの人に勧められた」が前年比0.3ポイント減の10.5%となった。

男女別では、「②自分で興味を持った」が男女共に増加し、特に男性は前年比15.1ポイント増の50.0%と半数を占める結果となった。

年代別に見ると、「②自分で興味を持った」が全ての世代で増加し、20代では前年比1.5ポイント増の54.3%と最も高い割合となった。

- ①金融機関に勧められたから
- ②自分で興味を持ったから
- ③周りの人(家族や友人など)に勧められたから
- ④その他

全体



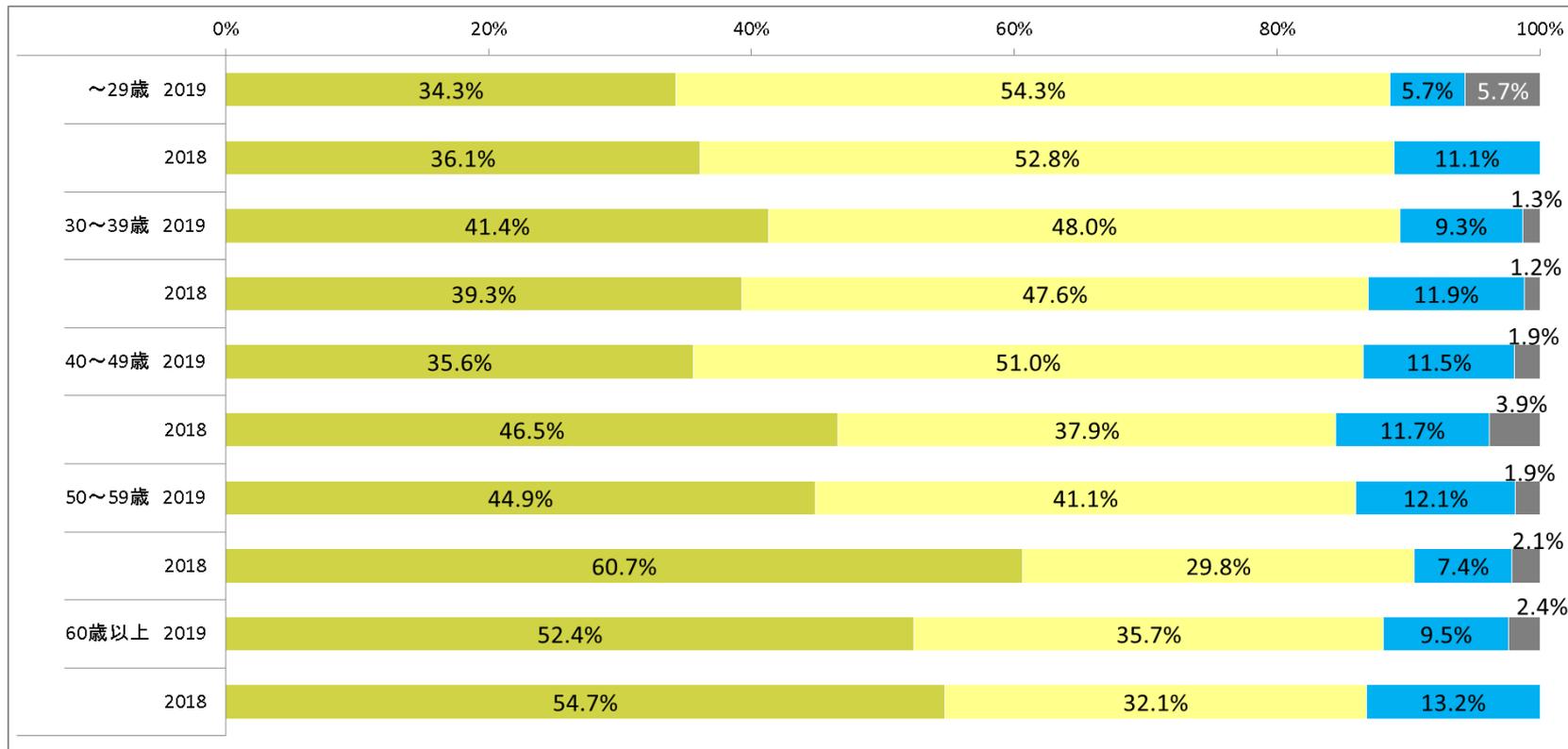
男女別



5. 資産運用について

- ①金融機関に勧められたから
- ②自分で興味を持ったから
- ③周りの人(家族や友人など)に勧められたから
- ④その他

年代別



【その他コメント】

- ・ 保険会社に勧められたから（複数）
- ・ セミナーの話を聞いて（40代・民間・女性）

5. 資産運用について

5-5. 資産運用を始めてから何年になりますか？

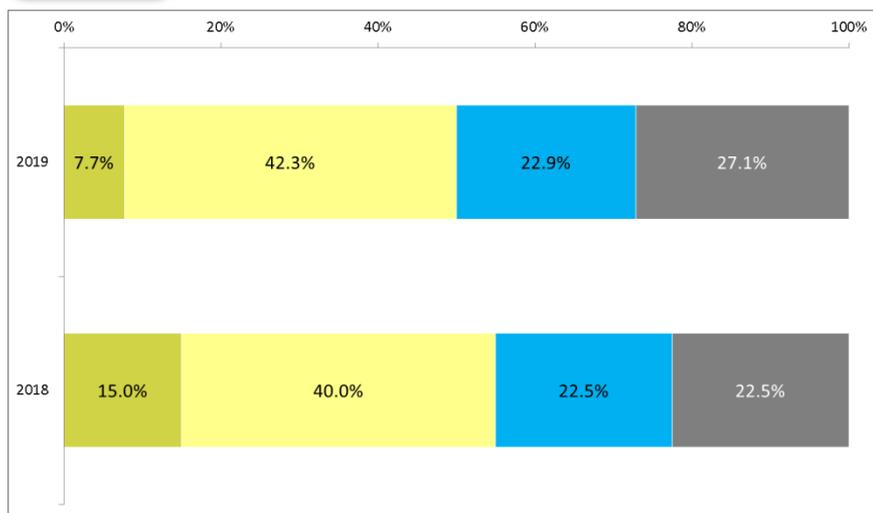
20代では資産運用を始めて「1年～5年未満」が6割以上

質問5-3で資産運用を「している」と回答した人に資産運用を始めて何年になるか尋ねたところ、「1～5年未満」が前年比2.3ポイント増の42.3%と最も高い割合となった。次いで、「10年以上」が前年比4.6ポイント増の27.1%、「5～10年」が前年比0.4ポイント増の22.9%となった。

年代別で見ると、20代では資産運用を始めて「1年～5年未満」の割合が前年比9.3ポイント増の63.6%で最も高い割合となっている。また、全ての年代で「1年未満」が減少した一方で「10年以上」は増加しており、長い期間をかけて資産を運用することが浸透してきている。

■ ①1年未満 ■ ②1～5年未満 ■ ③5～10年未満 ■ ④10年以上

全体



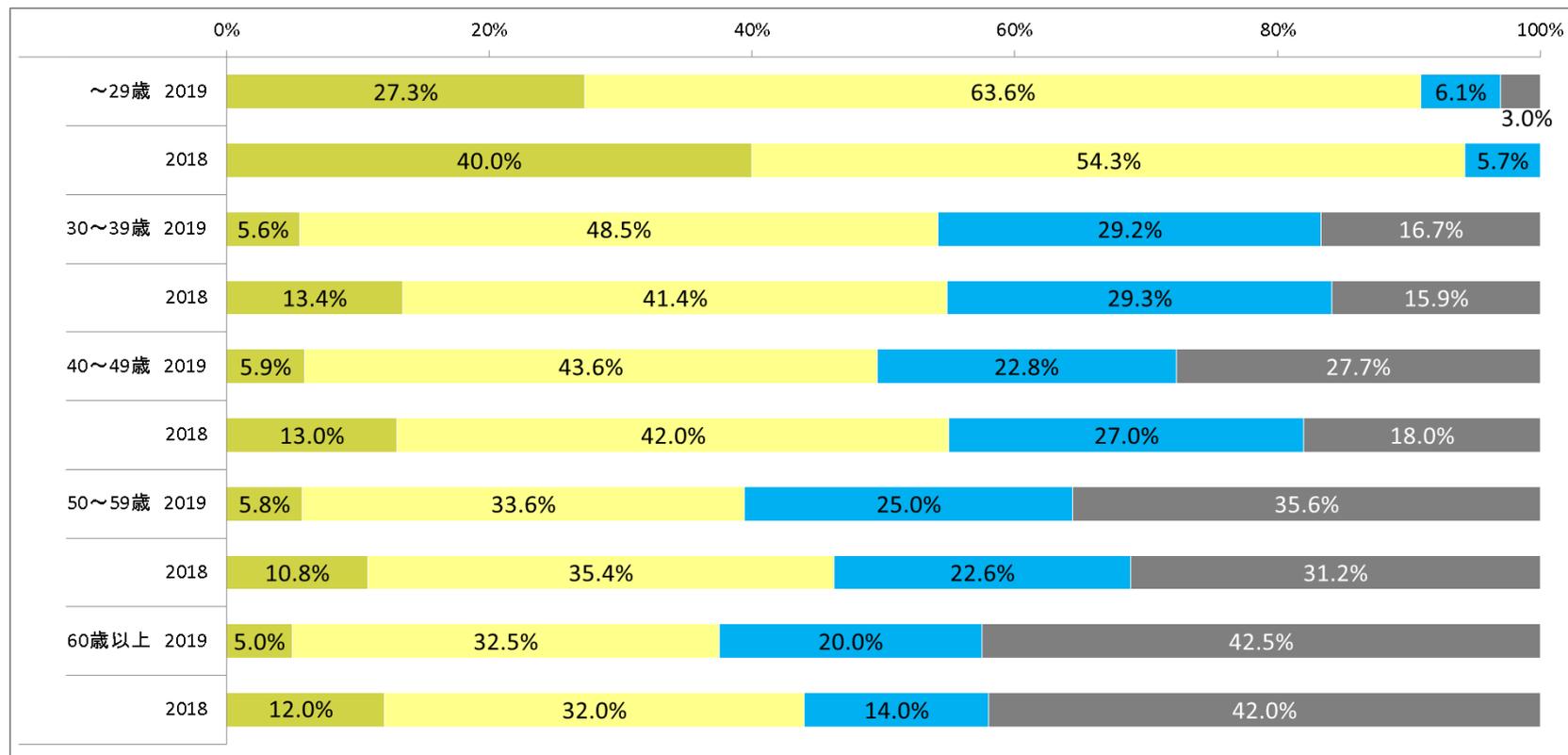
男女別



5. 資産運用について

■ ①1年未満 ■ ②1～5年未満 ■ ③5～10年未満 ■ ④10年以上

年代別



5. 資産運用について

5-6. どのような商品で資産運用をしていますか？

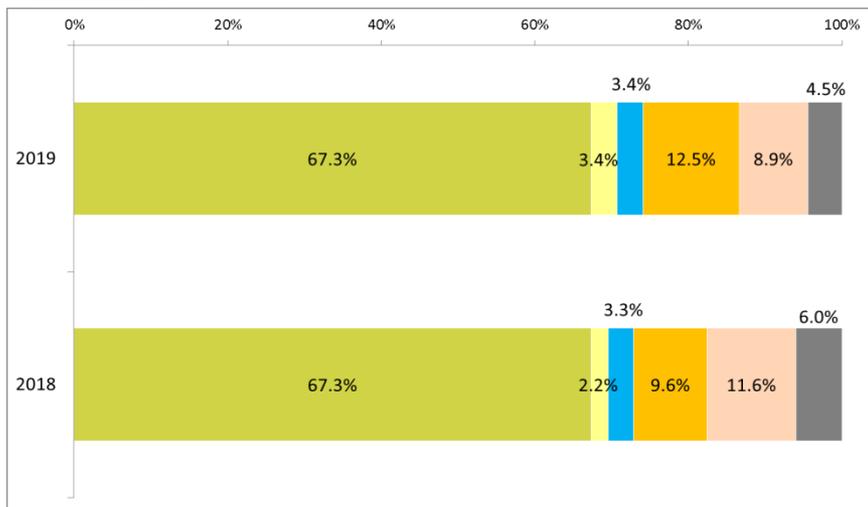
スマートフォン等でどこでも気軽に取引できる投資信託が人気

質問5-3で資産運用を「している」と回答した人にどのような商品で資産運用をしているか尋ねたところ、「①投資信託」が前年と同様の67.3%と最多割合となった。次いで、「④（投資性）のある保険」が前年比2.9ポイント増の12.5%、「⑤株式」が前年比2.7ポイント減の8.9%となった。

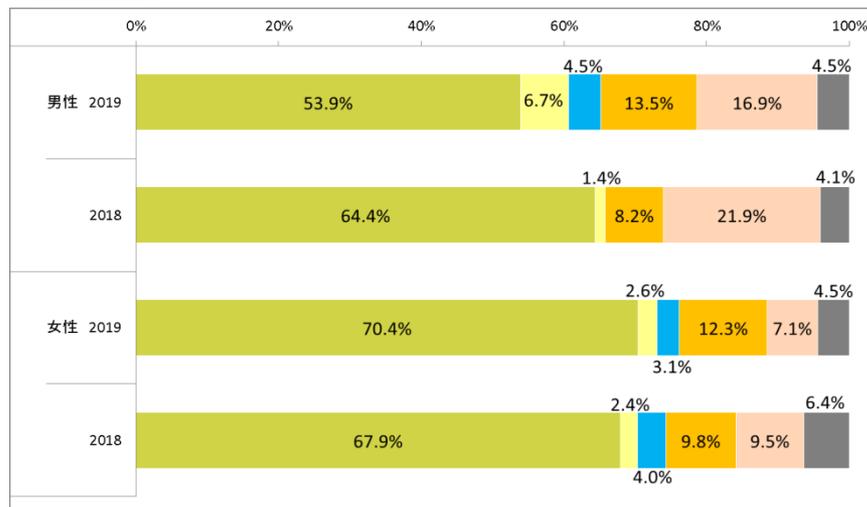
年代別で見ると、60代以上を除く全ての世代で「（投資性）のある保険」が昨年を上回る結果となり、20代では前年比9.5ポイント増の14.6%となった。また、スマートフォンやパソコンがあればどこでも気軽に取引ができる「投資信託」は、全ての世代で高い割合となっている。

■ ①投資信託 ■ ②日本国債 ■ ③外国国債 ■ ④(投資性のある)保険 ■ ⑤株式 ■ ⑥その他

全体



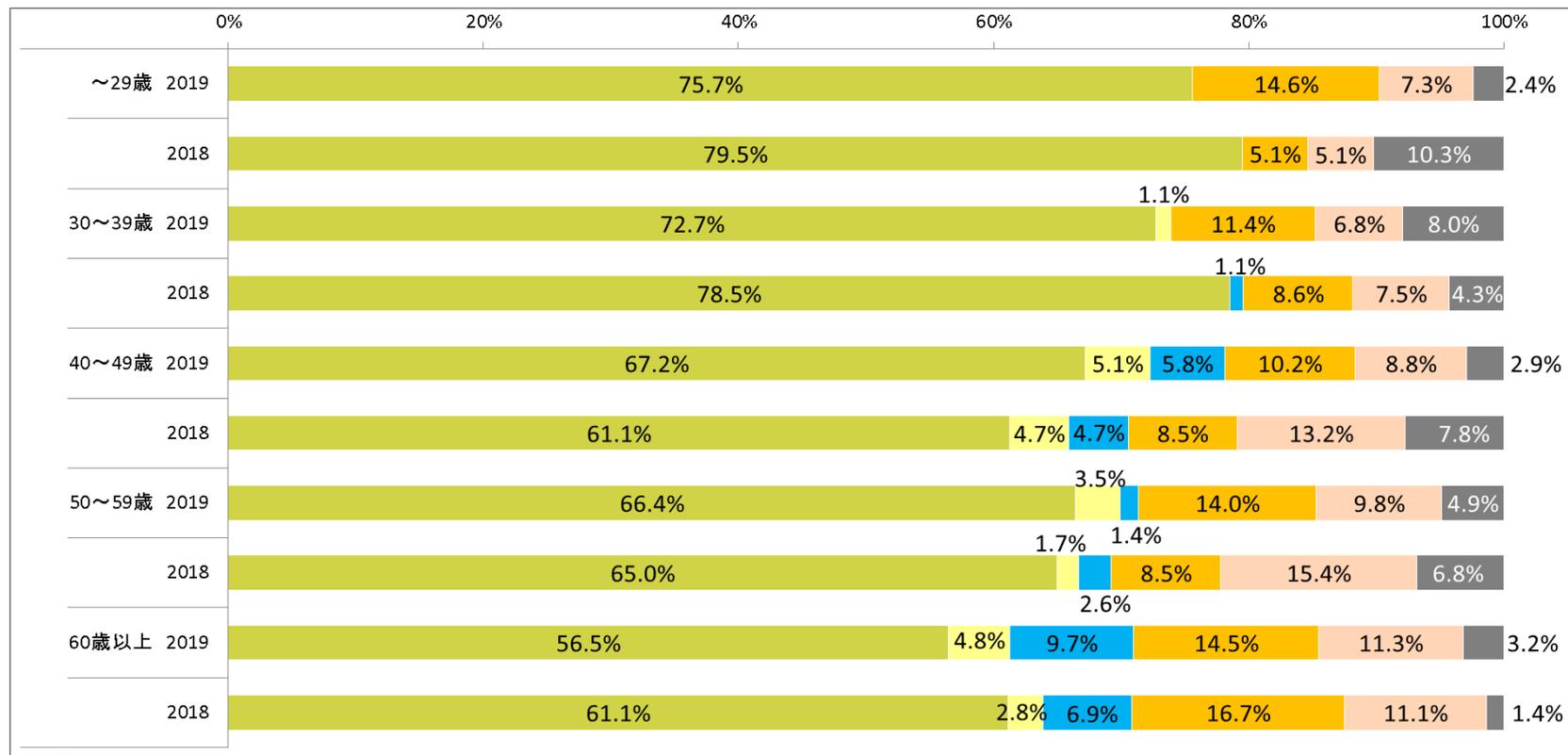
男女別



5. 資産運用について

■ ①投資信託 ■ ②日本国債 ■ ③外国国債 ■ ④(投資性のある)保険 ■ ⑤株式 ■ ⑥その他

年代別



【その他コメント】

- ・ iDeCo (多数)
- ・ 金、プラチナ、銀 (50代・民間・女性)